

# シンガポールにおけるカジノの社会的影響 －近年の動向に着目して－

中村 都

Social costs of casinos in Singapore: an update

Miyako NAKAMURA

はじめに

第1章 ギャンブルの社会的影響に関する調査

第1章第1節 統計にみるギャンブル参加

第1章第2節 統計にみるギャンブルの社会的影響

第1章第3節 ギャンブルの社会的影響

第2章 ギャンブルに関わる社会的費用低減措置

第2章第1節 カジノへの入場規制

第2章第2節 公務員のカジノ訪問

第2章第3節 カジノ事業者に対する規制

第2章第4節 カジノ以外のギャンブルに関わる規制

第2章第5節 国立問題ギャンブル評議会 (NCPG) の活動

おわりに

はじめに

シンガポール（総人口563.7万人、2022年6月現在<sup>1)</sup>）には2つのカジノがある。リゾート・ワールド・セントーサ・カジノ (Resorts World Sentosa Casino) とマリーナ・ベイ・サンズ・カジノ (Marina Bay Sands Casino) である。これらの、2010年上半期に開業したカジノは、それぞれ、リゾート・ワールド・セントーサ (RWS) とマリーナ・ベイ・サンズ (MBS) という統合リゾート (Integrated Resorts, IRs) 内に位置する<sup>2)</sup>。

1 “Key indicators,” Prime Minister’s Office (PMO), *et al.*, 2022.

2 リゾート・ワールド・セントーサ (RWS) は、マレーシアに本社を置く、レジャーや不動産、プランテーション、エネルギー、生物工学などを手掛けるゲンチン株式会社 (Genting Berhad) の子会社ゲンティン・シンガポール社 (Genting Singapore Limited) が運営する。2018年6月には、ドナルド・トランプ大統領 (当時) と金正恩朝鮮労働党委員長による、初の米朝首脳会談の舞台となった。マリーナ・ベイ・サンズ (MBS) は米国ネバダ州に本社を置く、統合型リゾートを手掛けるラスベガス・サンズ社 (Las Vegas Sands Corporation, LVS) が運営する。

2022年現在のシンガポールの統合リゾート（IRs）のカジノ以外の概要をみてみよう。シンガポール南端の、1970年代から観光に特化したセントーサ島にあるリゾート・ワールド・セントーサ（RWS）には、世界的に有名なテーマ・パーク、世界最大級の水族館、一流シェフが腕をふるうレストラン、世界的ブランドが並ぶアーケード、贅沢なスパ、あらゆる規模のMICE（Meetings, Incentive Travels, Conferences/Conventions, Exhibitions/Events）に対応する会議・展示施設、ゴルフ・コース、多彩なりゾート宿泊施設などがある。シンガポールの中央ビジネス地区側の埋立地にある、もうひとつのカジノ、マリーナ・ベイ・サンズ（MBS）には、大規模な劇場、世界屈指のレストラン、世界の一流ブランドが揃う巨大ショッピング・センター、各種MICE対応の会議・展示施設、ナイトクラブ、地上200mの絶景を堪能できる屋上プールや展望デッキ、レストランのある、ジャンボ旅客機が3機駐機可能な広さの空中庭園でつながる3棟の高層宿泊施設などがある。この屋上空中庭園でつながる3棟の高層宿泊施設は、2011年の開業以来、シンガポールを代表する景観のひとつとなっている。実際、シンガポール観光庁（Singapore Tourism Board, STB）「Visit Singapore」公式ウェブサイトは、マリーナ・ベイ・サンズ（MBS）のこの高層建築群を「シンガポールを代表するランドマーク」のひとつとして掲載する<sup>3</sup>。

カジノを含む、このような統合リゾート（IRs）は、リー・シェンロン（Lee Hsieng Loong）首相が「ナショナル・デー・ラリー・スピーチ（National Day Rally Speech）」（2004年8月22日）において、観光業の低迷、および、活気ある世界都市としての魅力の必要から、その開発について検討を提案し、「統合リゾート（IRs）開発の提案」（2005年4月18日）において同内閣の決定として表明した複合リゾート施設である<sup>4</sup>。より根本的には、シンガポール政府（人民行動党政権）は歴代、カジノ拒否を貫いてきた<sup>5</sup>にもかかわらず、高度経済成長の継続的実現によって国民からの確固たる支持を調達してきた<sup>6</sup>という経緯ゆえに、いっそうの経済発展への一大契機として、カジノ単体ではなく、カジノを含む統合リゾート（IRs）としての開発決定に至ったと思われる。

カジノを含む統合リゾート（IRs）開発検討案（2004年）にはギャンブルに付随する弊害への十分な対策の実施、一般の人々からの意見聴取も含まれていたものの、シンガポールにおけるカジノ導入の是非をめぐり、同国としては「異例の」議論を巻き起こした<sup>7</sup>。

シンガポール政府は、こうした事情を背景に、統合リゾート（IRs）開発決定に伴い、カジノに

3 "Singapore's most iconic landmarks," Singapore Tourism Board. n.d.

4 "Prime Minister Lee Hsien Loong's National Day Rally 2004 (English)"; "Proposal to Develop Integrated Resorts," Statement by Prime Minister Lee Hsieng Loong on Integrated Resort on Monday 18, April 2005 at Parliament House. この演説は、1965年8月9日の独立記念日に因むものである。

5 政府首脳はカジノ導入案（1965年、1970年、1985年、2002年）を却下してきた（Sim Wei Chun, 2013: 30-38.）。2002年の場合、同案却下は、今回統合リゾート（IRs）を提案したリー・シェンロン氏（当時、副首相）であった。「シンガポール建国の父」リー・クアンユー（Lee Kuan Yew）顧問相（当時：同国の初代首相 [1965～1990年]・上級相 [1990～2004年]・顧問相 [2004～2011年]）はリー・シェンロン氏の首相就任（2004年）頃から、カジノ賛成へと見解を変えている（Cited in *The Straits Times*, March 27, 2015）。中村 2019 参照。

6 中村 2009。

7 たとえば、AFP, November 28, 2004; Association of Women for Action and Research (AWARE), 2005; Giam, 2006; Henderson 2007. 2010年12月においても、宗教界よりカジノへの異議申し立てがなされている（National Council of Churches of Singapore, 2010）。

象徴されるギャンブルの負の側面を減じようと、さまざまな対策を取り始める。たとえば、同政府による、国立問題ギャンブル評議会（National Council on Problem Gambling, NCPG、2005年設立）やカジノ規制庁（Casino Regulatory Authority of Singapore, CRA、2008年設立）<sup>8</sup>といったギャンブルに関わる監督機関の設置や「居住者」——同国在住の国民と永住権保持者（407.32万人、2022年6月現在<sup>9</sup>）——からのカジノ入場税徴収の決定などの社会的弊害を可能な限りなくす諸手段である。

本稿は、シンガポールにおけるカジノがもたらす社会的影響とその弊害を最小化する諸手段について、ギャンブル全般を視野に入れつつ、検討する。

なお、本稿における通貨の単位は、明示がない限り、シンガポール・ドルである。

## 第1章 ギャンブルの社会的影響に関する調査

シンガポール政府・政府系機関による、「ギャンブル参加に関わる調査」は、コミュニティ開発・青年・スポーツ省（Ministry of Community Development, Youth and Sports）（2005年と2008年）と国立問題ギャンブル評議会（National Council on Problem Gambling, NCPG）（2011年以降）が、2005年から3年ごとに、3,000人の、18歳以上の「居住者」——同国在住の国民と永住権保持者——を対象に面接で実施してきた<sup>10</sup>。

同調査が対象とするギャンブルは以下のギャンブルである（各商品の販売価格は2022年11月末現在<sup>11</sup>）。

- \*4 Digits（略称：4D）：0000から9999までの4桁の数字をひとつ選択する宝くじ。各1ドル（税込み）より。国有企業であるシンガポール・プールズ（Singapore Pools）が販売。
- \*TOTO：1から49までの数字から一組6つの数字を選択する宝くじ。各1ドル（税込み）より。シンガポール・プールズが販売。
- \*シンガポール・スイープ（Singapore Sweep）：7桁の数字が印字されたシートを購入する宝くじ。各3ドル（税込み）で、シンガポール・プールズが販売。
- \*社会的ギャンブル（social gambling）：友人や親戚で金銭や宝石などの財物を賭けてする麻雀・ポーカー。
- \*スポーツ賭：対象はサッカーとフットボール、フォーミュラ1グランプリ・カー・レース（いわゆるF1）。シンガポール・プールズが販売。

8 2022年8月より、カジノ規制庁（Casino Regulatory Authority of Singapore, CRA）は、あらゆるギャンブルを管理するギャンブル管理庁（Gambling Control Authority of Singapore, GCA）となった。

9 “Key indicators,” PMO, Singapore, *et al.*, 2022.

10 調査の方法や調査対象数等については、各調査報告の、“Survey Methodology”参照（MCYS 2005 b; MCYS 2008; NCPG 2012; NCPG 2015; NCPG 2018.）。なお、2020年調査においては、回答者の賭博行為に関わるコロナによる制限の影響を最小限にするため、調査質問票は、コロナ前の2019年の賭博行為に関する回答をするよう、修正されるなどした（“Survey methodology,” NCPG 2021）。また、2020年調査における回答率は過去のすべての調査よりも低い62%であり（*ibid.*）、同調査については過去のすべての調査と異なり、「調査結果が代表的である」との記述は見当たらない。

11 “Lottery,” Singapore Pools, n.d.

- \* 競馬：馬券はシンガポール・プールズが販売（2019年1月7日以降<sup>12)</sup>。
- \* ジャックポット機（同国統合リゾート（IRs）内のカジノ；国内のクラブ；クルーズ船内あるいは国外）
- \* テーブル・ゲーム（同国統合リゾート（IRs）内のカジノ；国内のクラブ；クルーズ船内あるいは国外）

同調査における「ギャンブル参加者」とは、「過去1年間に上記いずれかのギャンブルに参加した者」である<sup>13)</sup>。但し、2020年調査においては、新型コロナウイルス感染症の拡大のギャンブル参加への影響<sup>14)</sup>を最小化するため、2019年における、上記いずれかのギャンブルへの参加について質問している<sup>15)</sup>。

## 第1章 第1節 統計にみるギャンブル参加

青年・文化・スポーツ省（MYCS）、および、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）の統計から、ギャンブル参加の状況をみてみよう。

### ◆ギャンブル参加率

シンガポール居住者におけるギャンブル参加率はどのような状況か。〈図表1：ギャンブル参加率〉に示されているように、初のギャンブル参加調査（2005年）以来、2017年調査において少々上昇をみたものの、50%前後を維持している。但し、2020年の低めの数値については、新型コロナウイルス感染症の拡大阻止のためのカジノなどギャンブル場の営業中止の一定の影響の可能性を2020年の調査報告は指摘している<sup>16)</sup>。

---

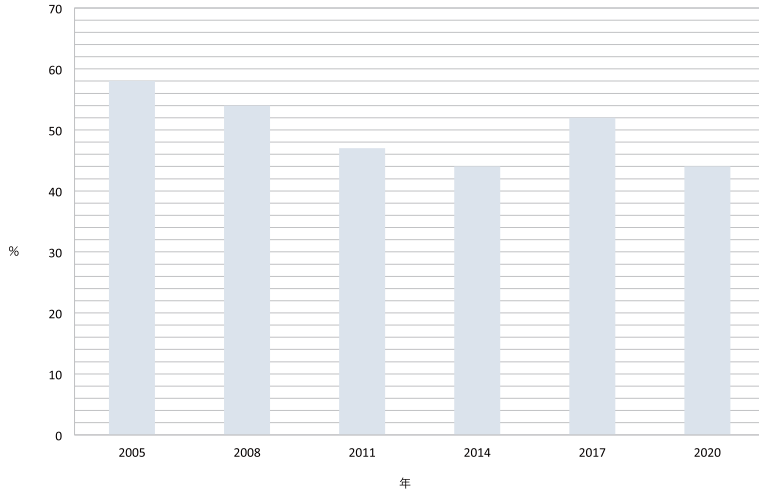
12 シンガポール・ターフ・クラブ（Singapore Turf Club）の馬券は2019年1月7日より、シンガポール・プールズに移管となっている（*The Straits Times*, October 29, 2018.）。

13 “Participation in gambling activities,” MCYS 2005 b；“Gambling patterns,” MCYS 2008；“Gambling patterns,” NCPG 2012；“Gambling patterns,” NCPG 2015；“Gambling patterns,” NCPG 2018.

14 カジノは2020年4月7日から同年6月30日まで完全閉鎖、同年7月1日から段階的に再開した。ギャンブル場の営業中止の詳細について、Table A 1, NCPG 2021 参照。

15 “Impact of COVID-19 and adjustments made to the 2020 Survey,” NCPG 2021.

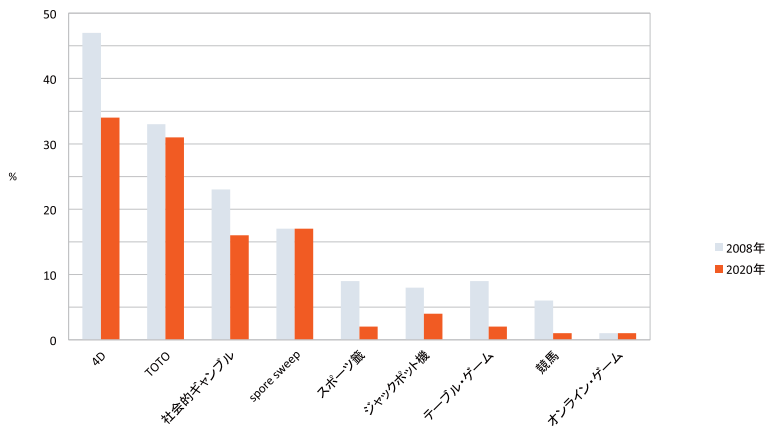
16 Ibid.



図表 1 ギャンブル参加率

出典：Table B3, NCPG 2021 より、筆者作成。

シンガポール居住者のゲーム別ギャンブル参加率はどのような状況か<sup>17</sup>。〈図表 2：ゲーム別ギャンブル参加率〉——同一項目を比較するため、2008 年と 2020 年を比較——によれば、同じ数値であったシンガポール・スイープとオンライン・ゲームを除いて、すべてギャンブル参加率は下がっている。〈図表 2：ゲーム別ギャンブル参加率〉からは、人気のあるギャンブルが 4D、TOTO、シンガポール・スイープ、社会的ギャンブルであることがわかる。



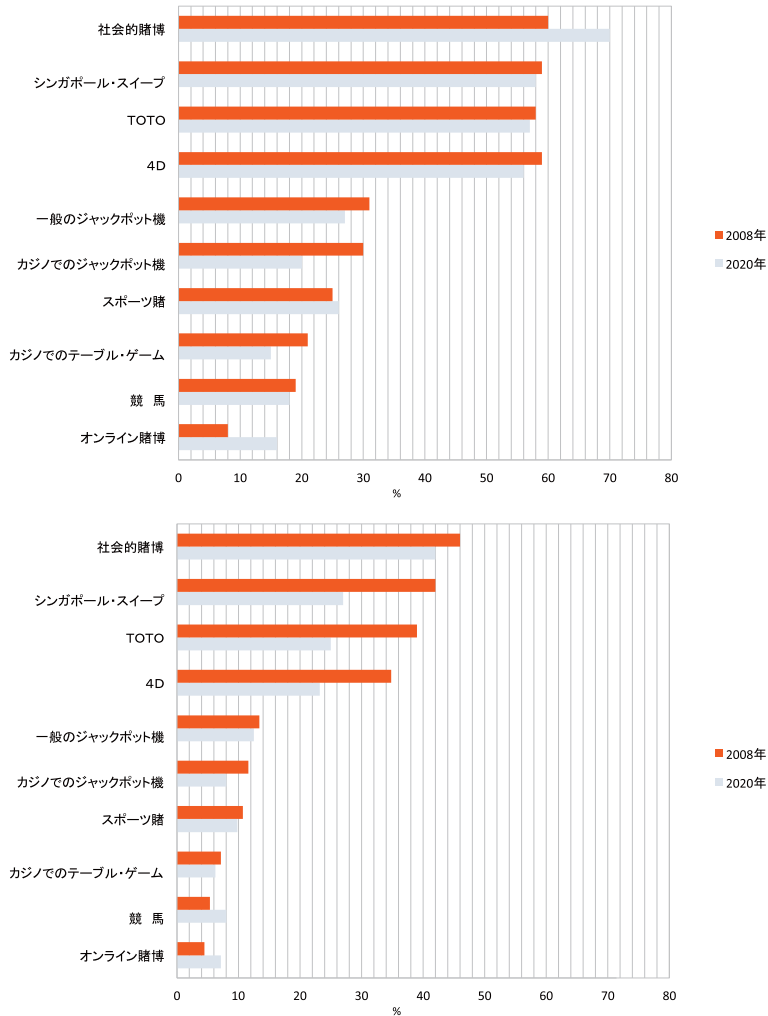
図表 2 ギャンブル参加率—ゲーム別

出典：Table B2, MCYS 2008、および、Table B2, NCPG 2021 より、筆者作成。

17 各『ギャンブル参加調査報告』において、ギャンブルの種類を「ゲーム (game)」と表記している (MCYS 2005 b; MCYS 2008; NCPG 2012; NCPG 2015; NCPG 2018; NCPG 2021.)。

◆ギャンブルに対する認識——ギャンブルか、余暇活動か

ギャンブルの参加者のうち、また、非参加者のうち、特定のゲームを、ギャンブルとみなすか、余暇活動とみなすか、の違いについてみてみよう。次の〈図表 3-1：ギャンブルを余暇活動とみる率 ギャンブル参加者の場合〉、〈図表 3-2：ギャンブルを余暇活動とみる率 ギャンブル参加者でない場合〉——同一項目を比較するため、2008年と2020年を比較——は、各ゲームを「余暇」と感じるか、「ギャンブル」と感じるかについての回答である。



図表 3 ギャンブルを余暇活動とみる率

上のグラフ：図表 3-1 ギャンブルを余暇活動とみる率ギャンブル参加者の場合

下のグラフ：図表 3-2 ギャンブルを余暇活動とみる率ギャンブル参加者でない場合

図表 3・注：「一般のジャックポット機」とは、国内カジノ以外の、国内クラブの同機を指す。

出典：Table B2, MCYS 2008、および、Table B8, NCPG 2021 より、筆者作成。

——ギャンブル参加者の場合

\*2020年において、社会的ギャンブルへの見方が10パーセンテージ・ポイント低くなった以外、4D、TOTO、シンガポール・スイープ、社会的ギャンブルという人気の4種については大きく変わっていない。

\*オンライン・ギャンブルとスポーツ賭を余暇とみなす率が2020年には高く、特にオンライン・ギャンブルについて高い。

——ギャンブル非参加者の場合

\*2020年において、社会的ギャンブルを余暇とみなす率の減少は小さいが、社会的ギャンブル以外の人気のある4D、TOTO、シンガポール・スイープの3種は、13～15パーセンテージ・ポイント減少している。

\*オンライン・ギャンブルと競馬を、余暇とみなす率が、2020年には高くなっている。

ギャンブルに対する認識、すなわち、ギャンブルとみなすか、余暇活動とみなすかについては、次の2点に要約できる。

1・ギャンブル参加者とギャンブル非参加者では、ギャンブルを余暇活動とみなすかどうか異なっている。

2・ギャンブル参加者の方が、「ギャンブルに参加している」という認識が薄い。人気のある4種——4D、TOTO、シンガポール・スイープ、社会的ギャンブル——については、特にそうした認識が薄い。

#### ◆ギャンブル依存症率

ギャンブル中毒と見なされる人々ほどの程度の割合か。

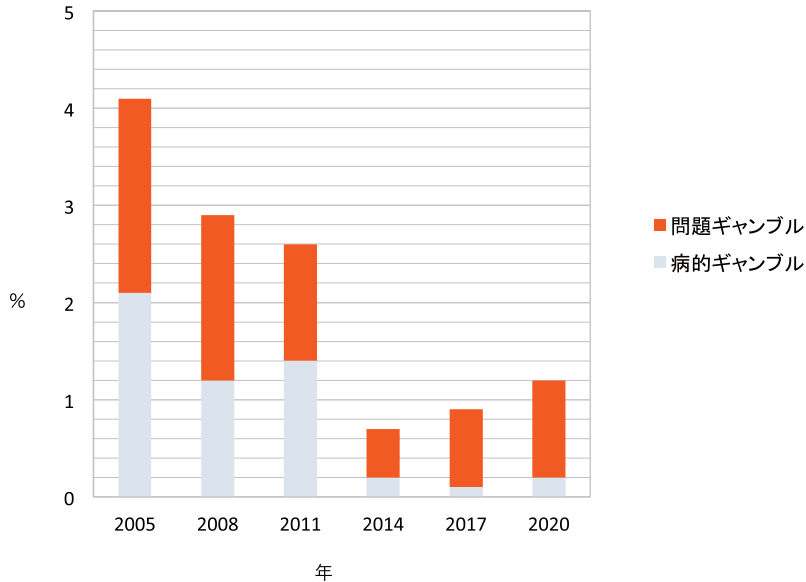
ギャンブル参加は、重度の「病的なギャンブル (probable pathological gambling)」と (前者に比較すれば) 軽度の「問題のあるギャンブル (probable problem gambling)」別に集計されている。この分類は、アメリカ精神医学会 (American Psychiatric Association, APS) による「精神障害の診断および統計便覧 (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, DSM)」で定義された精神疾患の分類に基づく<sup>18</sup>。「病的なギャンブル」とは評価基準10項目のうち5項目以上が持続的かつ反復的に該当する場合、「問題のあるギャンブル」とは評価基準10項目のうち3～4項目が該当する場合と定義される。

なお、世界保健機関 (WHO) は「ギャンブル障害 (gambling disorder)」および「ゲーム障害 (gaming disorder)」を「国際疾病分類 (International Classification of diseases, ICD)」に含める<sup>19</sup>。

18 “Probable pathological gambling screening criteria,” MCYS 2005 b, MCYS 2008, NCPG 2011, NCPG 2015 (基準は、DSM-IV) ; “Probable pathological and problem gambling screening criteria,” NCPG 2018, NCPG 2021 (基準は、DSM-V)。

19 「インターネット・ゲーム障害」(internet gaming disorder) はアメリカ精神医学会 (APS) が DSM-V に2013年に、WHO が2018年に「ゲーム障害」として ICD-11 (ICD 第11版、2022年より施行) に追加した。

〈図表4：ギャンブル依存症率〉はギャンブル依存症である病的な、あるいは、問題のあるギャンブル参加者の比率を示している。両者の率は2005年調査においては計4%を超えていたが、2014年調査以降は大幅減となっている。とりわけ、2017年と2014年における差は統計的に有意と云うるものである。



図表4 ギャンブル依存症率

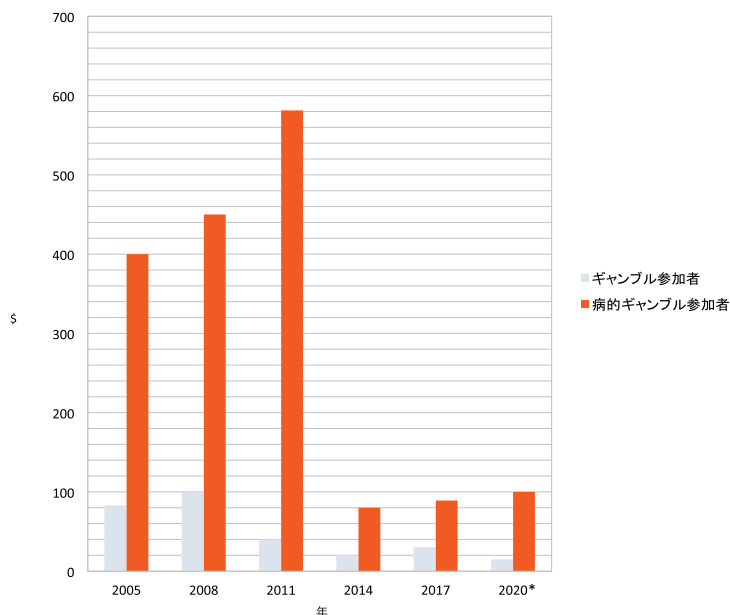
出典：Table B7 in MCYS 2005 a; Table B8 in MCYS 2008; Table B8 in NCPG 2012; Table B8 in NCPG 2015; Table B8 in NCPG 2018; Table B9 in NCPG 2021, より、筆者作成。

#### ◆ギャンブルに使う金額

ギャンブル参加者は、ギャンブルに毎月、どの程度使っているのか。〈図表5：ギャンブルに毎月、使う金額-中央値〉は、すべてのギャンブル参加者と病的ギャンブル参加者（2020年のみ、病的・問題ギャンブル参加者）を分けて示したグラフである。

一見して、常に、病的ギャンブル参加者（2020年のみ、病的・問題ギャンブル参加者）の方がすべてのギャンブル参加者より、遙かに多くの金額を毎月、ギャンブルに振り向けていることがわかる。特に、統合リゾート（IRs）を構成するカジノの開業直後の2011年における病的ギャンブル参加者の使用金額は突出している。2014年以降、病的ギャンブル参加者（2020年のみ、病的・問題ギャンブル参加者）の場合も使用金額は激減しているものの、すべてのギャンブル参加者に比べれば、その使用金額の大きさは歴然としている。2011年の場合は15倍近い差が、2020年の場合は7倍近い差がある。





図表5 ギャンブルに毎月、使う金額－中央値

2020\*：病的・問題ギャンブル参加者

出典：Table B9 in MCYS 2005 a; Table B10 in MCYS 2008; Table B10 in NCPG 2011; Table B10 in NCPG 2014; Table B10 in NCPG 2018; Table B10 in NCPG 2021、より、筆者作成。

\*ギャンブル参加者がギャンブルに毎月、使う金額について、全ギャンブル参加者に加え、2017年までの調査報告は病的ギャンブル参加者の数値報告であるが、2020年調査報告は病的ギャンブル参加者と問題ギャンブル参加者の数値がひとつにまとめられた報告になっている。

なお、2020年調査報告における、2017年の病的ギャンブル参加者と問題ギャンブル参加者の数値をひとつにまとめた報告は89ドルである。

\*出典（MCYS 2005 a 以外）の注：病的・問題ギャンブル参加者は標本数が少ないため、解釈には注意が必要である。

#### ◆ギャンブル対する自制心

ギャンブル参加の頻度はギャンブルに対する自制心と関係しているのか。〈図表6：ギャンブル参加頻度と自制心〉は、週に1回未満のギャンブル参加者＝「低頻度のギャンブル参加者」と少なくとも週に1回以上のギャンブル参加者＝「高頻度のギャンブル参加者」の、時間・金額・頻度に関わる自制心を2014年、2017年、2020年と比べた表である。この表は、少なくとも週1回以上のギャンブル参加者である「高頻度のギャンブル参加者」の方が、自制心の低さを示す数値が高く、自制心が低いことを示している。

年	低頻度のギャンブル参加者			高頻度のギャンブル参加者		
	2014	2017	2020	2014	2017	2020
自制心の低さ (%)	4.8	2.8	5.0	8.7	6.2	7.4

図表 6 ギャンブル参加頻度と自制心

\*高い数値 (%) ほど、自制心が低いことを示す。

出典：Table B13, NCPG 2018; Table B12, NCPG 2021.

では、ギャンブル参加に対する、時間・金額・頻度に関わる自制心は、ゲームで異なっているのか。〈図表 7: ギャンブル参加者の自制心-ゲーム別〉は、ゲーム別、場合によってはゲームの場所別の、ギャンブル参加者の時間・金額・頻度に関わる自制心を 2014 年、2017 年、2020 年と比較した表である。各年とも、比較的、スポーツ賭と競馬に対する自制心が低く、2020 年のスポーツ賭とクルーズやシンガポール国外でのテーブル・ゲームに対する自制心の低さが際立っている。

図表 7 ギャンブル参加者の自制心-ゲーム別

	2014	2017	2020
TOTO	7.0	3.4	6.5
4D	6.7	3.8	5.6
シンガポール・スイープ	7.2	4.5	7.2
社会的ギャンブル	18.5	4.6	9.6
スポーツ賭	12.7	9.1	23.4
競馬*	14.3	20.7	15.4
ジャックポット機、国内 IRs*	10.5	4.9	7.5
ジャックポット機、地元*	21.9	6.7	9.7
ジャックポット機、クルーズ/国外*	9.6	5.0	10.1
テーブル・ゲーム、国内 IRs*	14.0	4.8	9.5
テーブル・ゲーム、クルーズ・国外*	13.0	2.9	23.4
オンライン・ギャンブル*	14.3	7.1	12.2
全ギャンブル参加者	6.2	3.9	5.7

\*：これらのゲームのギャンブル参加者の標本数が少ないため、解釈には注意が必要である（2017 年と 2020 年に関わる Table B11, NCPG 2021、原注）。2014 年と 2017 年に関わる Table B12 (NCPG 2018) には、こうした注は記されていない。

\*高い数値 (%) ほど、自制心が低いことを示す。

出典：Table B12, NCPG 2018; Table B11, NCPG 2021.

#### ◆ギャンブル開始年齢とギャンブル定期的参加の時期、ギャンブル参加の種別

ギャンブル開始年齢は 18～24 歳が最も多く、その時期に定期的な、すなわち、少なくとも週 1

回の、ギャンブル参加者になっている<sup>20</sup>。全ての調査において、ギャンブル開始年齢は、24歳まで（18歳未満、および、18～24歳）で50%以上を占める<sup>21</sup>。

初めてのギャンブル、および、定期的なギャンブル参加の種別としては、4Dが最も多く、4Dは、初めてのギャンブルでは57～64%（2008年の48%を除く）、定期的なギャンブルでは71～84%となっている<sup>22</sup>。

初めてのギャンブル、および、定期的なギャンブルの場所としての国内カジノ——2010年開業——は、2011年調査における「初めてのギャンブルが1.2%、定期的なギャンブルの場所が2.3%」を除き、2014年調査以降、すべて0%台であり、非常に影が薄い<sup>23</sup>。

#### ◆ギャンブルを頻繁にする人々

どのような人々がギャンブルを頻繁にしているのか。民族や性別、宗教、年齢階層、教育水準、所得階層からみてみよう<sup>24</sup>。

民族と性別、宗教でみると、すべての調査において、概して、中国系の人々、男性、道教信者、仏教信者のギャンブル参加が多い。

同じく、マレー系シンガポール人、イスラーム信者のギャンブル参加は圧倒的に少ない。なお、マレー系シンガポール人は、ほぼイスラーム信者である<sup>25</sup>。

年齢別にみると、2005年調査における30-39歳の年齢階層を除き、概して、40才以上の年齢階層でギャンブル参加が多い。

教育水準でみると、2005年調査を除き、概して、小学校卒業<sup>26</sup>に至らなかったギャンブル参加者が多い。

所得階層——所得ゼロ以外は、999ドルごとに、月額4,000ドル以上までの5区分——でみると、2005年・2011年調査においては、月額所得4,000ドル以上のギャンブル参加者が最も多く、ほかの調査、すなわち、2008年・2014年・2017年・2020年調査においては、概して中間所得層のギャンブル参加が多い。

20 Table B5, MCYS 2005 b; Table B5, MCYS 2008; Table B5, NCPG 2011; Table B5, NCPG 2015; Table B5, NCPG 2018; Table B6, NCPG 2021.

21 Ibid.

22 Table B6, MCYS 2005 b; Table B6, MCYS 2008; Table B6, NCPG 2011; Table B6, NCPG 2015; Table B6, NCPG 2018; Table B7, NCPG 2021.

23 Ibid.

24 Table B1, MCYS 2005 b; Table B1, MCYS 2008; Table B1, NCPG 2012; Table B1, NCPG 2015; Table B1, NCPG 2018; Table B1, NCPG 2021. シンガポールにおいては、国民は公的に、マレー系、インド系、中国系、その他、と民族区分がなされている。

25 “Religious affiliation by ethnic group,” Department of Statistics, Singapore, 2021.

26 小学校卒業とは、小学校卒業試験（Primary School Leaving Examination）合格を意味する。1996年1月1日以降に生まれたシンガポール国民で同国に居住している場合、2003年1月1日以降、国立小学校への通学が義務となった。なお、シンガポールには、地方自治体は存在しない。

#### ◆ギャンブル参加の結果

ギャンブル参加はどのような結果をもたらしているのか。ギャンブル参加の結果に関する調査を含む 2014 年以降の調査報告からみてみよう。

時間、賭け金、頻度という点において予定以上にギャンブルをしてしまう、すなわち、自制心が働かないギャンブル参加者の場合、上記の自制心が働くギャンブル参加者に比べて、望ましくない影響が際立つ。自制心が働かないギャンブル参加者の場合、ギャンブルでお金を溶かしたことへの後悔、ギャンブルにまつわる感情的問題、生活費の不足や家族との関係悪化が大きな問題となっている<sup>27</sup>。

### 第 1 章 第 2 節 統計にみるギャンブルの社会的影響

ギャンブルに関わる抑制措置や相談から、カジノを含むギャンブルの社会的影響をみてみよう。

#### ◆カジノへの入場抑止措置

カジノへの入場抑止措置には、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）への申請による、入場自己排除（casino self-exclusion）と自主的訪問規制（casino voluntary visit limit）がある。

カジノへの入場自己排除者数（原則、各年末現在）は、〈図表 8-1：カジノ入場排除者数－申請者別〉に示されるように、圧倒的に外国人が多い。新型コロナウイルス感染症が拡大する前の 2019 年の場合、カジノへの入場排除の外国人と居住者の比率は、274,981 人対 27,506 人と、10 対 1 であった。こうした状況は、シンガポールにおいて、シンガポール国籍・永住権を持たない外国人が総人口の約 3 割を占めており（2022 年 6 月現在）<sup>28</sup>、雇用者が被雇用者にカジノへの入場排除の申請を義務づけている場合が少なくないことに関連する。2020 年、2021 年の外国人入場排除者数の減少は、新型コロナウイルス感染症の拡大に関わる、外国人のシンガポールからの出国によると考えられる<sup>29</sup>。

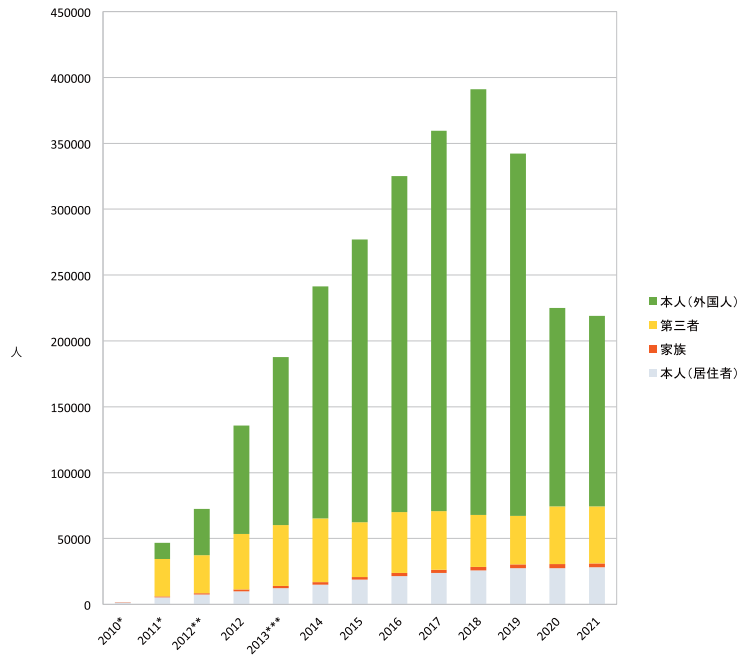
外国人を除いた〈図表 8-2-A：カジノ入場排除者数－居住申請者別〉、および、〈図表 8-2-B：カジノ入場排除者数－居住申請者別〉をみると、居住者本人の申請による排除が新型コロナウイルス感染症が広がる前の 2019 まで年々増加し、また、「第三者による排除命令（a Third Party Exclusion Order）」（2014 年 6 月分から、自動排除）は本人申請をはるかに上回っている。2019 年の場合、本人申請 27,506 人に対し、第三者申請は 36,953 人と 1.3 倍に、2021 年の場合、本人申請 28,079 人に対し、第三者申請は 43,252 人と 1.5 倍に上っている。この「第三者による排除命令」とは、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）が国内のカジノを訪れる財政基盤の弱い者に対して出す社会的予防措置であり、次のグラフでみる「第三者による訪問制限（a Third Party Visit Limit）」を課された場合、「第三者による排除命令」を受ける場合もある。

27 Table B16, NCPG 2015; Table B15, NCPG 2018; Table B3, NCPG 2021.

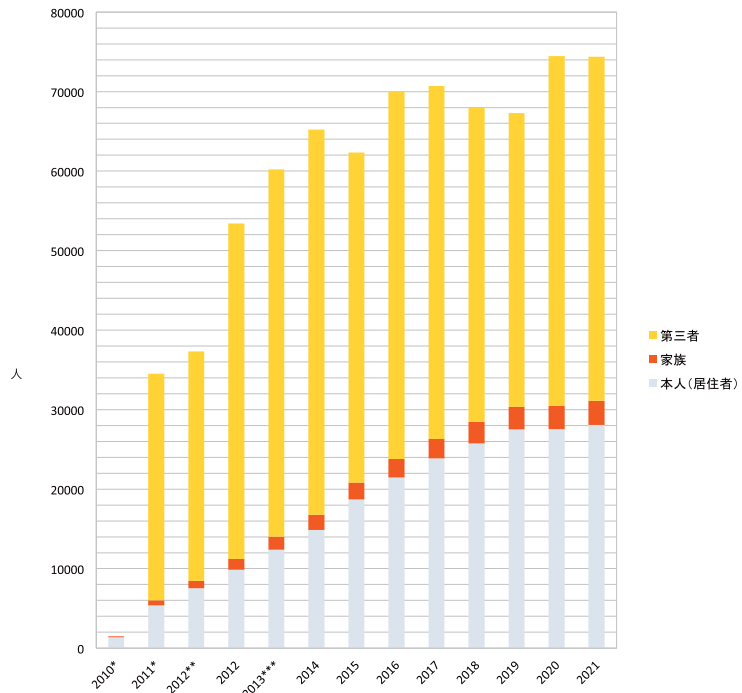
28 Chart 1, PMO, *et al.*, 2022.

29 新型コロナウイルス感染症の影響がなかった 2019 年のシンガポール国籍・永住権を有さない外国人に比べ、その影響が拡大した 2020 年の同国籍・永住権を有さない外国人数は 4 万人減の 164 万人、2022 年のそれは 147 万人となった（各年 6 月現在）、*ibid.*

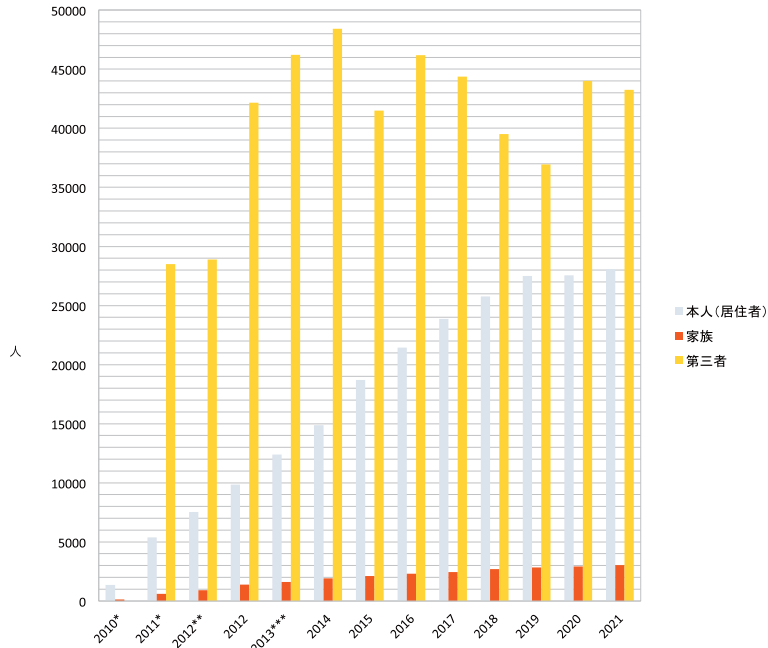
なお、入場排除に関わる本人・家族・第三者申請は2009年から、外国人の本人申請は2010年から制度化され、第三者による申請は2014年6月から自動排除になっている。



図表 8-1 カジノ入場排除者数-申請者別



図表 8-2-A カジノ入場排除者数-居住申請者別



図表 8-2-B カジノ入場排除者数-居住申請者別

\*2010年、2011年は、各年6月30日現在。

\*\*2012年1月31日現在。

\*\*\*2013年11月30日現在。

出典：“Active Casino Exclusions & Visit Limits,” *Update of Statistics, various issues*；“Overview of NCPG Exclusions and Visit Limits from Casino,” *Statistics, various issues*, より、筆者作成。

カジノ入場排除には「法による自動的排除 (automatic exclusion by law)」もある。カジノから自動的に排除されるのは、自己破産者、政府から財政支援受給者、家賃補助の公営賃貸住宅居住者、半年以上の家賃滞納者などである。法に基づく自動的排除者数は、当初より、年間4万数千人で推移している<sup>30</sup>。

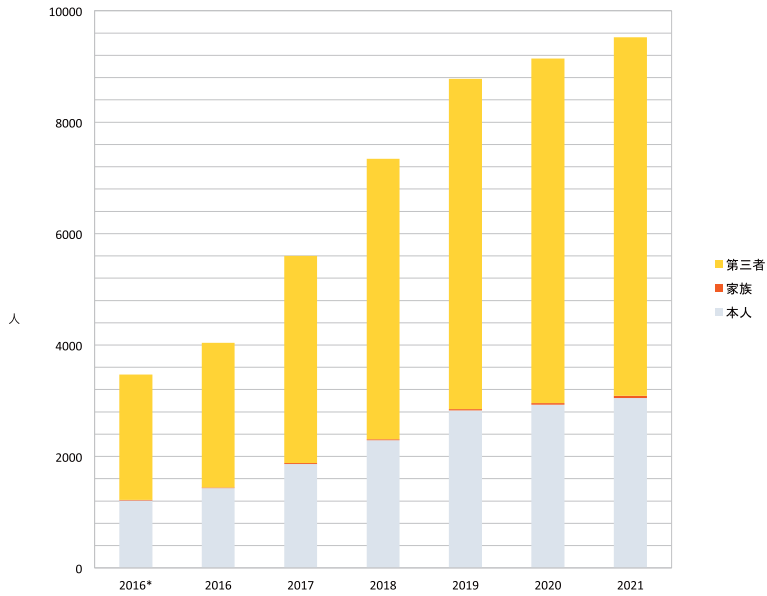
他方、「自発的訪問制限」は毎月の訪問可能回数を1回、2回、4回、6回、または8回に少なくとも1年間、自発的に制限する方式——「1回の訪問」は1つのカジノへの入場時点から連続24時間と定義される——であり<sup>31</sup>、〈図表 9-A：カジノ訪問回数制限者数〉、および、〈図表 9-B：カジノ訪問回数制限者数-申請者別〉は各年末の申請者（本人、家族、第三者）別の人数を表している。

家族申請によるカジノ訪問制限者数は増加しつつも2021年においても40件に満たないが、本人申請以上による同制限者数以上に、第三者申請による同制限者数は増加の一途をたどっている。本人申請と第三者申請によるカジノ訪問制限者数はそれぞれ順に、2016年末は1,431人と2,597人、2021年は3,049人と6,439人と、2016年と違って2021年の場合、第三者の申請によるカジノ訪問

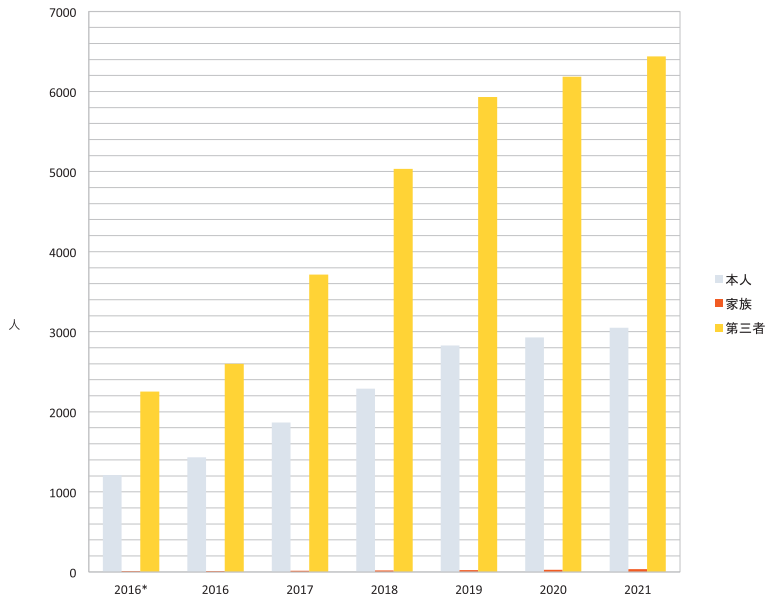
30 “Casino exclusions,” または、“Active casion exclusions & visit limits,” *Update of Statistics, or Statistics, various issues*, n.d., NCPG.

31 “Self Help is Your Best Bet,” n.d., NCPG.

回数制限者数は本人申請の場合に比べて2倍以上になっている。なお、各訪問可能回数についての詳細は明らかにされていない。



図表 9-A カジノ訪問回数制限者数



図表 9-B カジノ訪問回数制限者数－申請者別

出典：“Active Casino Exclusions & Visit Limits,” *Update of Statistics*, various issues；“Overview of NCPG Exclusions and Visit Limits from Casino”, *Statistics*, various issues, より、筆者作成。

\*2016のみ\*、2016年3月末。

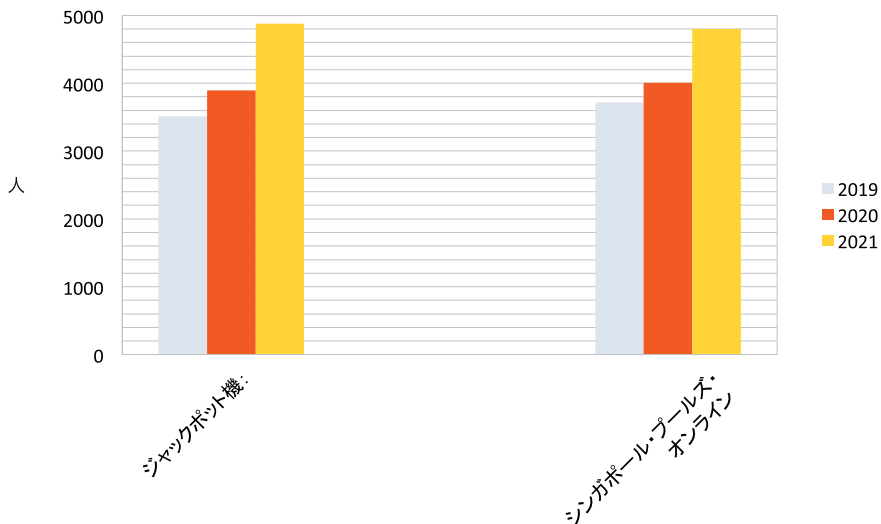
◆カジノ以外のギャンブルからの自己排除

カジノ以外のギャンブル、すなわち、ジャックポット機設置室、および、シンガポール・プールのオンライン・ギャンブルに対しても、自己排除が可能である。

上記2種の自己排除に関して、2019年から統計が公表されている。

〈図表10：カジノ以外のギャンブルからの自己排除〉に示されるように、ジャックポット機設置室、シンガポール・プールのオンライン・ギャンブルからの自己排除の人数は年々増加している。

いずれの場合も、男性がジャックポット機で80～81%、シンガポール・プールのオンライン・ギャンブルで85%を占め、年代別では、31～40歳、41～50歳、51～64歳がそれぞれ約4分の1を、30歳以下と65歳以上が残りの4分の1を占めている<sup>32</sup>。



図表10 カジノ以外のギャンブルからの自己排除

出典：“Active jackpot machine room self-exclusion,” および、“Active self-exclusion from Singapore Pools online betting,” *Statistics*, as at 31 December 2019; *Statistics*, as at 31 December 2020; *Statistics*, as at 31 December 2021. より、筆者作成。

◆電話、または、チャットで支援を求めた人数

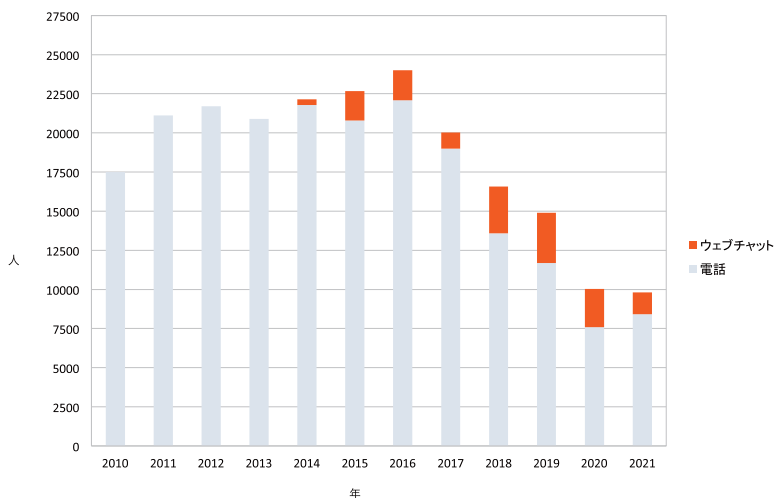
ギャンブル参加について、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）に電話、または、チャット（webchat）で支援を求めた人数は毎年どれくらいか。

〈図表11-A: NCPGに電話・チャットで支援を求めた人数〉、〈図表11-B: NCPGにチャットで支援を求めた人数〉に示されているように、電話、または、チャットによる相談——チャット相談は2014年6月開始——は2016年まで概ね増加の傾向にあったが、2017年以降、減少の傾向にある。2020年はとりわけ、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うカジノ施設の閉鎖措置——カジノは

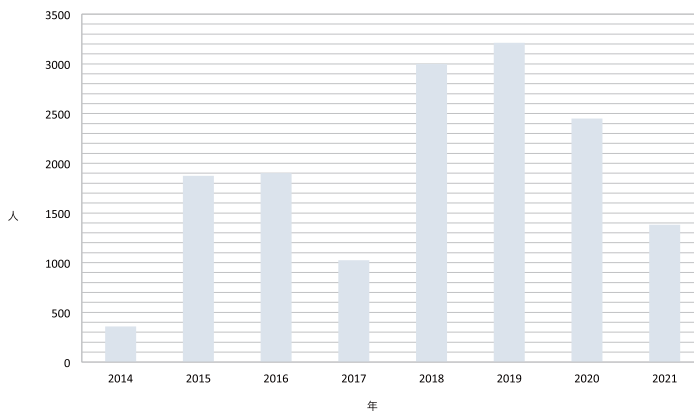
<sup>32</sup> “Active jackpot machine room self-exclusion,” および、“Active self-exclusion from Singapore Pools online betting,” *Statistics*, as at 31 December 2019; *Statistics*, as at 31 December 2020; *Statistics*, as at 31 December 2021.



2020年4月7日から同年6月30日まで完全閉鎖、同年7月1日から段階的に再開<sup>33</sup>——などの影響が大きかったと推測される。しかし、新型コロナウイルス感染症に関わる各種措置が緩和されつつある2021年も相談人数は電話相談とチャット相談合わせて約1万人と前年と殆ど変わらなかった。



図表 11-A NCPG に電話・チャットで支援を求めた人数



図表 11-B NCPG にチャットで支援を求めた人数

出典：“Number of individuals who sought help,” NCPG, n.d., *Updates of Statistics*, data as at 31 December 2018. および、“Number of individuals who sought help with NCPG Helpline and Webchat,” NCPG, n.d., *Statistics*, data as at 31 December 2021. より、筆者作成。

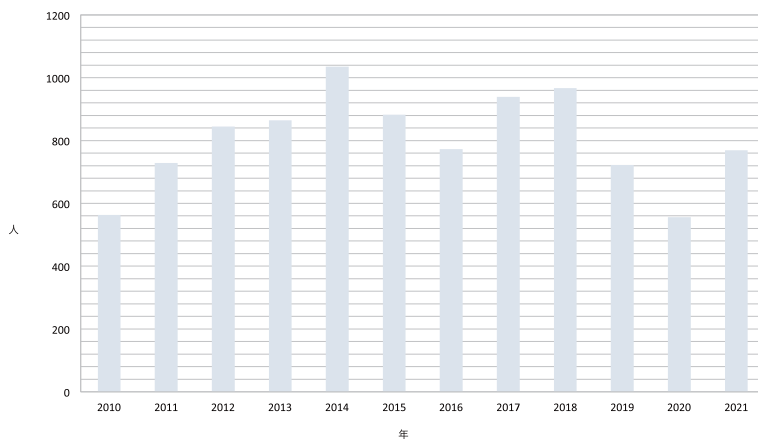
33 新型コロナの感染予防措置として、営業は常に定員の25%未満に制限され、また、両カジノの入場条件は、シンガポール居住者は年間入場券保持者であり、かつ、マリーナ・ベイ・サンズ・カジノの場合はゴールド・ステータス以上であるか Sands Rewards Club 会員、リゾート・ワールド・センターサ・カジノの場合は Genting Reward 会員であった (June 29, 2020, *News*, Casino.org.)。

なお、シンガポール・プールズはオンラインのスポーツ賭の営業を2020年6月15日から、オンラインの競馬の営業を2020年6月17日から再開している (June 14, 2020, *Press release*, Singapore Pools)。

## ◆カウンセリングを受けた人数

ギャンブル問題でカウンセリング——国立問題ギャンブル評議会（NCPG）のほか、全国中毒管理サービス（National Addictions Management Service）や NCPG 指定諸機関での事例を含むが、そのほかのギャンブル中毒回復支援を行うコミュニティ組織は除く<sup>34</sup>——を受けた人数はどれくらいか。

〈図表 12：NCPG、および、NCPG 指定諸機関でカウンセリングを受けた人数〉に示されるように、2014 年まで増加傾向にあったが、2015 年以降は増減を繰り返している。2020 年および 2021 年におけるカウンセリング人数の減少は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うカジノ施設の閉鎖などの措置の影響と考えられる。



図表 12 NCPG、および、NCPG 指定諸機関でカウンセリングを受けた人数

出典：“Number of individuals who sought help,” NCPG, n.d., *Update of Statistics*, data as at 31 December 2018. および、“Number of individuals who received counselling,” *Statistics*, data as at 31 December 2021. より、筆者作成。

## 第 1 章 第 3 節 ギャンブルの社会的影響

ギャンブル参加率は当初より 50% 前後で推移しており、ギャンブル依存症率は当初（4.1%）に比べれば、低い率（1.2%）にとどまっている。また、ギャンブルに関わる電話・チャット相談人数は 2016 年の 24,000 人強をピークに減少の傾向にあり（2020 年と 2021 年はともに、1 万人前後）、同じくカウンセリング人数は 560 人程度から 1,030 人強と増減を繰り返している。

一方、シンガポール国民・永住者、すなわち居住者におけるカジノ入場排除者数は当初に比べて増加し、カジノ訪問回数制限者数、および、カジノ以外からの自己排除者数も増加している。具体的には、2021 年の場合、カジノからの排除者数は 74,380 人、カジノ以外のギャンブルからの排除者数は 9,680 人、カジノ訪問回数制限者数は 9,525 人、計 93,585 人である。

34 “Number of individuals who received counselling,” *Statistics*, as at 31 December 2021, NCPG.

## 第2章 ギャンブルに関わる社会的費用低減措置

ギャンブルは必ず社会的費用を伴う。シンガポール政府・政府系機関がとった、ギャンブルに付随する社会的費用の低減措置——第1章でみた「電話・チャット相談」、「カウンセリング」は除く——概観する。

### 第2章 第1節 カジノへの入場規制

#### ◆カジノ入場に関わる年齢制限

21歳未満は入場できない。カジノ事業者は入場者の年齢確認を行う必要がある。

#### ◆カジノ入場税（Casino entry levies）の徴収

カジノ事業者は、カジノの入り口——シンガポール居住者と外国人では別になっている——で入場しようとする者の身分証・旅券を確認し、シンガポール国民とシンガポール永住者からは規定の入場税を徴収しなければならない。

これは、シンガポール居住者が気軽に、衝動的にギャンブルをしないようにするために導入された措置である。当初より、各カジノに連続する24時間有効な1日券——カジノは24時間営業——と各カジノに1年間有効な年間券がある。

カジノ入場税は、2019年4月19日23時59分以降、1日券、年間券とも、〈図表13：カジノ入場税〉に示されるように、50%値上げとなった。同時に、一人あたりの未使用の入場券所持は1枚が限度となり、2枚目の購入は1枚目が6時間以内に失効する場合に限られ、2019年8月1日以降は購入した入場券は両券種とも、自動的に6時間後に発効することになった<sup>35</sup>。

	1日券	年間券
2019年4月19日23時58分以前	100ドル	2,000ドル
2019年4月19日23時59分以降	150ドル	3,000ドル

図表13 カジノ入場税

出典：Press release, Ministry of Trade and Industry (MTI), *et al.*, April 3, 2019, より、筆者作成。

シンガポール政府によれば、カジノ入場税値上げは、問題ギャンブルの状況や世帯の所得水準の変化、地元カジノの代替となっているギャンブル——船上カジノ<sup>36</sup>や隣国マレの首都クアラルン

35 Press release, Ministry of Trade and Industry Singapore (MTI), *et al.*, 2019. このプレス・リリースの注によれば、両券種とも、2枚目の購入は、6時間以内に1枚目が失効する場合にのみ許可される。

36 国内でのカジノ開業（2010年）に伴い、船上カジノの客数は激減したが、国内カジノの100ドルの入場料を嫌い、2013年には客数が戻った。船上カジノは、シンガポールから日帰りが可能——客の8割はシンガポール居住者——で、週日・日帰りの場合、フェリー往復・食事セットで43ドルのところ、55歳以上は23ドルで賭うことができ、賭け金は国内カジノの25ドルからに対し、2ドルからであった（*The Straits Times*, March 15, 2015; *Calvin Ayre*, March 15, 2015.）。

2022年11月30日現在、シンガポール発のカジノ船のホームページにはかつてのカジノ船の広告が貼り付けられ

プール郊外にあるカジノ「リゾート・ワールド・ゲンティン (Resorts World Genting)」<sup>37</sup>——の一般的な価格、シンガポール経済の状況を考慮に入れての決定である<sup>38</sup>。

#### ◆カジノへの入場の可否の確認

カジノに関わる排除、カジノへの訪問回数制限（上述）に加え、シンガポール居住者はネット上で入場可否の確認が可能である。

国立問題ギャンブル評議会（NCPG）ウェブサイトの電子サービス（E-Services）を利用すれば、居住者が持つ身分証、または、旅券の番号を入力することによって、排除者に該当するかどうかかわかるという仕組みになっている<sup>39</sup>。

### 第2章 第2節 公務員のカジノ訪問

シンガポールの公務員には、次のような場合、報告義務がある。

- \*月に4回以上、国内のカジノを訪問した場合
- \*1年間有効の、国内のカジノの入場券を購入した場合

### 第2章 第3節 カジノ事業者に対する規制

カジノ事業者はギャンブル管理法（Gambling Control Act 2022; 2022年8月1日施行）（2022年7月までは、カジノ管理法 [Casino Control Act]）や遠隔ギャンブル法（Remote Gambling Act 2014）（2015年1月1日施行）などの規制下にある。

#### ◆カジノでの賭け金に関わる規制

\*シンガポール居住者には、原則、信用貸し付けができず、同居者からクレジットカードを受け取ることができない<sup>40</sup>。

\*カジノ内に、現金自動預払い機（ATM）を設置できない。

#### ◆カジノの広告と販売促進に関わる規制

- \*シンガポール国内において、広告と販売促進はできない<sup>41</sup>。
- \*シンガポール国内において、無料送迎バスの運行はできない<sup>42</sup>。

---

々、ているのみとなっている。このカジノ船はコロナ禍による稼働の激減、そして稼働不可により、維持費と鉄スクラップ価格高騰を理由に、売却に至った（*CruiseMapper*, April 27, 2021.）。

37 2022年11月現在、シンガポールとリゾート・ワールド・ゲンティン（Resorts World Genting）のあるゲンティン・ハイランド間はバスで7～10時間程度、片道40～80ドルとなっている。

38 MTI, *et al.*, 2019.

39 “Non-Casino Exclusions,” *6th Term Report 2017-2019*, NCPG.

40 信用貸し付けの唯一の例外は、特定のカジノに10万ドル以上を預託する居住者のプレミアム・プレーヤーである（MCYS 2005 a: 3; MTI, *et al.*, April 3, 2019.）。

41 国内広告禁止は、顧客への影響よりも、むしろ、シンガポール政府のカジノに対する厳しい態度を表明するという政治的意味が大きいとされる（*Marketing-interactive*, November 28, 2011.）。

42 無料送迎バスは、24時間入場券利用の低所得層シンガポール居住者には一定の意味があると思われるが、ギャンブル参加者の経済状況に対する影響は限定的とされる（*Ibid.*）。

◆ゲーム場面積とゲーム機数の制限

\*各統合リゾート（IRs）のゲーム場面積上限は、15,000 平方メートルとする。

\*各統合リゾート（IRs）のゲーム機数の上限は、2,500 台とする。

◆「責任あるギャンブル（responsible gambling）」プログラムの実施

「責任あるギャンブル」プログラム——事前に社会・家族発展省（MSF）により承認を受ける必要がある——は、ギャンブルが顧客・社会に与える悪影響の低減、および、顧客へのギャンブルに関する十分な情報の提供を目的とする。

たとえば、「責任あるギャンブル・フォーラム（Responsible Gambling Forum, RGF）」は、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）とともに、ギャンブル事業者やギャンブル参加者に、問題ギャンブルと NCPG の支援資源に関する認識を深めるために、毎年恒例の「責任あるギャンブルに対する認識を深める週間（Responsible Gambling Awareness Week）」を実施した<sup>43</sup>。

## 第 2 章 第 4 節 カジノ以外のギャンブルに関わる規制

◆シンガポール・プールズ

シンガポール・プールズ——現在、宝くじとスポーツくじで唯一の免許を持つ国有企業——の利用は、18 歳から可能である。但し、同オンラインのアカウント開設は 21 歳以上のシンガポール国民、同国永住者、同国に居住し有効なシンガポール外国人登録番号を持つ者に限定される<sup>44</sup>。オンライン・アカウントの開設と保持は、カジノ排除者には許可されない。

◆オンライン・ギャンブル

遠隔ギャンブル法により、内務大臣認可の管理者または個人による営業を除き、遠隔通信手段——インターネット、電話、テレビ、ラジオ、または、その他の電子技術等を用いた通信手段——を用いた国内におけるギャンブル行為が違法となった<sup>45</sup>。

2016 年 9 月、同法に基づき、国内企業 2 社——シンガポール・プールズとシンガポール・ターフ・クラブ——によるインターネット上のギャンブル営業——宝くじ、サッカー籤、競馬など——が初めて認可された<sup>46</sup>。

オンライン・ギャンブルの自己排除を申請した場合、シンガポール・プールズのアカウント開設はできず、同アカウント保持者ならばアカウント関連のサービスを利用できず、その他の形態のオンライン・ギャンブルは禁止となる<sup>47</sup>。

43 “Adapting to COVID-19,” *NCPG Term Report 2019-2021*, RGF について、たとえば、“The year in review,” *NCPG Annual Report 2013/2014*, 参照。

44 “Eligibility, Singapore Pools Account,” Singapore Pools.

45 【外国の立法】No.262-2. 国立問題ギャンブル評議会（NCPG）によれば、同評議会の関係者——民族・宗教・地域・社会サービス・草の根組織の代表——全員が一定の遠隔ギャンブル規制に賛同した（2014 年 1 月 6～7 日開催の会議）（Media release, March 6, 2014, NCPG.）

46 【外国の立法】No.270-1.

47 “Self Help is Your Best Bet,” NCPG.

ギャンブル管理法により、オンラインの社会的ギャンブルが禁止となり、オンラインの社会的ギャンブルに関わる代理ギャンブルは犯罪となった<sup>48</sup>。代理ギャンブルはギャンブル（カジノを含む）排除者や犯罪組織関係者が利用する可能性があるためである。

#### ◆民間ギャンブル場の認可条件の厳格化

シンガポール政府はフルーツ機設置室——一般に、ジャックポット機設置室として知られている——のある民間宝くじクラブ（private lottery clubs）の認可条件を厳格化を宣言した（2017年）<sup>49</sup>。

#### ◆ジャックポット機設置室からの自己排除

ジャックポット機設置室からの自己排除は2014年から、シンガポール・プールズを含む25の事業者について、可能となっていた<sup>50</sup>。

2018年5月以降、カジノからの家族申請による排除、または、第三者からの排除、法による自動的排除に該当する場合、集中自己排除システムにより、シンガポールの民間クラブによる、すべてのジャックポット機設置室から排除されることになった<sup>51</sup>。

## 第2章 第5節 国立問題ギャンブル評議会（NCPG）の活動

#### ◆ギャンブルの弊害に関わる啓蒙活動

民間組織とともに、ゲーム等を利用し、一般の人々へのギャンブルの弊害に関わる知識を広めたり、インターネット上にギャンブルの弊害やギャンブル中毒からの回復についての動画を公開したり、バス停やカジノ船内、カジノ・クルーズ船の船着き場などに訴求対象別の内容のポスターを掲出したりしている<sup>52</sup>。また、旧正月や「ワールド・カップ」といった行事・催事に的を絞ったギャンブル依存症対策も行っている<sup>53</sup>。

#### ◆ギャンブルに関する研究

ギャンブル参加調査のほか、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）主催で、シンガポール国外の専門家で構成される国際諮問委員（International Advisory Panel）とギャンブル事業者、社会サービス関係者、規制機関関係者による、問題ギャンブルや公教育、ギャンブルに関わる最新の傾向に関する研究集会を実施している<sup>54</sup>。

48 *The Straits Times*, July 31, 2022.

49 "Exclusion from remote gambling accounts and jackpott machine rooms," *NCPG Term Report 2015-2017*; "Non-casino exclusions," *NCPG Term Report 2017-2019*.

50 "Exclusion from remote gambling accounts and jackpott machine rooms," *NCPG Term Report 2015-2017*.

51 *ibid.*; "Non-casino exclusions," *NCPG Term Report 2017-2019*.

52 "Public education," *NCPG Term Report 2015-2017, 2017-2019, 2019-2021*.

53 2014年のワールドカップに関わる賭について、BBC News, July 15, 2014. 2021年の旧暦新年の賭について、"NCPG CNY 2021," at <https://www.youtube.com/watch?v=6EZiBxw7Q5A>。シンガポールにおけるFIFA（国際サッカー連盟）ワールド・カップ2022——2022年1月20日～同年12月18日開催——に関わる違法ギャンブルの取り締まりについて、Press release, November 17, 2022, Ministry of Home affairs, Singapore; *The Straits Times*, November 17, 2022.

54 2020年はオンラインで開催された（"Research," NCPG 2021.）。

## おわりに

### ◆カジノとシンガポール社会

シンガポール初のカジノ（2カ所）の開業（2010年）は同国居住者に悪影響をもたらさなかったと同国の代表紙『ストレーツ・タイムズ』紙は結論づけ（2018年）、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）の『シンガポール居住者におけるギャンブル活動参加調査報告 2020年』は、2005年の初調査以来、ギャンブル参加率の50%前後での推移、ギャンブル参加者の賭け金額は毎月100ドル以下がほぼ9割という状況、病的・問題ギャンブル率の低率での継続を総括として記述する<sup>55</sup>。

カジノへの入場者はシンガポール政府によれば、2010～2018年に50%減少し、カジノ関連犯罪は2010～2018年に299件から126件へと58%減少し、組織犯罪は20件にも満たなかった<sup>56</sup>。

また、オンライン・ギャンブルはシンガポール政府高官によれば、許可（2016年9月）後、急増せず<sup>57</sup>、シンガポールにおけるギャンブルに関する見解についてのオンライン調査（2022年5月20日～同年6月3日、YouGov社が世界18市場で実施）において、オンライン・ギャンブルの許可には、シンガポールの成人の56%が反対、同じく65%はオンライン・ギャンブルに対する規制が厳しい（厳しすぎる、どちらかといえば厳しい）と回答した<sup>58</sup>。

ただ、上記の『シンガポール居住者におけるギャンブル活動参加調査報告 2020年』は、「問題ギャンブルは依然として懸念事項であり、国立問題ギャンブル評議会（NCPG）と社会・家族発展省（Ministry of Social and Family Development）が問題ギャンブルに継続して取り組む」と総括において述べる<sup>59</sup>。

たしかに、ギャンブルに関わる懸念は至極当然のことと言わねばならない。シンガポール発の船上カジノには人気があった（第2章）。また、ギャンブル常連客がギャンブル参加のための借り入れに訪れる質屋の数の増加——114店（2008年）から204店（2014年）へ——<sup>60</sup>やギャンブル問題を体面を気にして相談しない少なくない人々の存在も報じられ<sup>61</sup>、「自己排除制度」適用者が既にギャンブル依存症であること、「自己排除制度」適用者はシンガポール国外やカジノ船でギャンブルを継続しようとする者が多いこと、高利貸しの増大やギャンブル絡みの借金の厳しい取り立ての社会問題化、自己破産件数の増大なども報告されている<sup>62</sup>。他方、『カジノ規制庁年報』の「強制措置（“enforcement action(s)”）」欄に毎年、未成年者やカジノ排除者の入場、入場者の滞在時間

55 *The Straits Times*, March 27, 2018: “Summary of key findings and implications from the survey on participation in gambling activities, 2020,” NCPG 2021.

56 *The Business Times*, May 7, 2019. 組織犯罪については、GGRAsia, May 06, 2019.

57 Calvinayer, February 28, 2018. もともと、電話でギャンブルをしていた人々がオンラインに移行したと政府高官は述べている (ibid.)。

58 YouGov, September 12, 2022.

59 “Summary of key findings and implications from the survey on participation in gambling activities, 2020,” NCPG 2021. なお、Ministry of Social and Family Development は、Ministry of Community Development, Youth and Sports の一部を受け継いでいる。

60 Bloomberg, June 18, 2014. 法務省（Ministry of Law）によれば、2023年1月1日現在、公認の質店数は235である。

61 *The Independent*, April 4, 2019.

超過、カジノ入場税の払い戻しなどについて、カジノ事業者の違反とその罰金額が載せられている<sup>63</sup>。『カジノ規制庁年報』各年版のこうした記述は、カジノ関連の問題を起こす人々が少なからず存在し、かつ、規制が機能していることの証左である<sup>64</sup>。

シンガポールの人々がギャンブルに大枚をはたいているという主要メディアによる報道もある。『エコノミスト (*The Economist*)』誌 (2017年2月9日付) によれば、シンガポール居住者成人一人あたりのギャンブルにおける損失は、オーストラリアに次いで世界で第2位であり (650米ドル程度)、カジノにおける損失に限定すれば世界第1位 (400米ドル弱)、シンガポールにおけるカジノに次ぐ損失は宝くじ (150米ドル程度) となっている (2016年推定値)<sup>65</sup>。

こうした数値はしかし、シンガポールの政治的安定や税制面での富裕層優遇措置、アジア太平洋地域における戦略的位置などによる、超富裕層・富裕層のシンガポール居住に関わっているとされる<sup>66</sup>。シンガポールにおける、2020年の個人超富裕層 (ultra high net worth individuals, UHNWIs) ——主たる住居を含む資産が3,000万米ドル以上——は前年比10.2%増、すなわち、345人増の3,732人、個人超富裕層人口が急増する国のうち同国は世界第3位であり<sup>67</sup>、2021年、個人超富裕層 (UHNWIs) は4,206人に増加している<sup>68</sup>。ギャンブル参加者の賭け金額は毎月100ドル以下がほぼ9割 (2020年)<sup>69</sup>とされるなか、一部の超富裕層・富裕層が国内のカジノで遊ぶだけで、かなりの大金が動くと推測され、このことがシンガポール居住者成人一人あたりのギャンブル損失額を大きく押し上げると考えられるからである。

同時に、シンガポール政府や関係諸機関はギャンブル規制に積極的に取り組んできた。同国居住者へのギャンブルに関わる信用貸し付けの原則禁止、技術の急速な発展——オンライン・ギャンブルとオンライン・ゲームの融合など——に対応した遠隔ギャンブル法の施行 (2015年)、国外の専門家とのギャンブル問題対策会議 (2015年、2017年など) の開催、カジノやその他のギャンブルからの排除制度の拡大、ギャンブル問題の相談の拡充、ギャンブル問題対策協力組織への支援 (訓練など)、民間ギャンブル場の認可条件の厳格化、カジノ入場税の50%値上げ (2019年)、包括的なギャンブル管理法の施行 (2022年) などである。

ギャンブル管理法は、家族・友人間でのビジネスに関連のない社会的ギャンブルを合法化する<sup>70</sup>一方、オンラインの社会的ギャンブルや代理ギャンブルを禁止する。また、フルーツ機などギャン

62 鳥畑 2015: 166-167.

63 "Enforcement action(s)," *Annual Report, Casino Regulatory Authority of Singapore*, 各年版。

64 *Ibid.*: カジノ施設外でも、ギャンブル規制は機能している。たとえば、遠隔ギャンブル法違反で、29人が逮捕された ([casino.org](http://casino.org), July 19, 2022)。

65 *The Economist*, February 9, 2017. なお、『エコノミスト』誌における「居住者」は、シンガポールにおける統計の場合とは違い、一般的な意味と解される。

66 *Inside Asian Gaming*, October, 2014.

67 *The Business Times* (Singapore), March 2, 2021. 映画『クレージー・リッチ (*Crazy Rich Asians*)』(ジョン・M・チョウ監督、2018年)は、シンガポールを舞台に、同国の超富裕層の生活を描く。この映画について、『朝日新聞』2018年11月19日、参照。

シンガポールはまた、居住者の約20%が低所得層とされる社会でもある (Teo 2018)。

68 *Channelnewsasia*, March 2, 2022.

69 "Summary of key findings and implications from the survey on participation in gambling activities, 2020," NCPG 2021.



ブルの中心商品に免許制を導入し、ミステリー・ボックスやビデオ・ゲームのルート・ボックスを規制し、アーケード・ゲームやクロー機、ミステリー・ボックスなどの賞金は100ドルを上限とし、シンガポール国外・一部が同国外のギャンブル施設の場合も規制可能とするなど、あらゆるギャンブルを管理下に置く。

もっとも、シンガポール政府は、あらゆるギャンブルの規制はギャンブルの闇市場につながるとして、過剰規制はしないと表明している<sup>71</sup>。

こうした一連の対策は、カジノ開設提案に対する、シンガポールの草の根の人々からの、前例のない反対を踏まえ、シンガポール政府がギャンブルの負の影響を最小化するという同国民との約束を守ろうとしてきたということの証明にほかならない。

#### ◆カジノとシンガポール社会の今後

カジノを含む統合リゾート（IRs）は他方、シンガポール経済に大きな地位を占めるようになっていく。

カジノ入場税は、入場者半減にもかかわらず、2010～2018年に13億ドル（9億5400万米ドル）に達し<sup>72</sup>、2022会計年度は、1.25億ドルと2012年以來の減少が初めて増加に転じた<sup>73</sup>。カジノ入場税は、カジノ入場税値上げ後のシンガポール居住者の入場減少<sup>74</sup>、および、現行のカジノ事業者とのカジノ拡大協定の一部としてのカジノ入場税値上げに明らかのように、同国居住者の国内カジノ訪問への制約として機能しつつも、入場税という負債を取り戻すためにギャンブル行為が加速するという逆効果も発生し<sup>75</sup>、他方で、同政府の歳入に大きく貢献するという、一筋縄ではいかない複雑な様相を呈している。

統合リゾート（IRs）はまた、外国人来訪者のシンガポール滞在の大きな誘因として、シンガポール観光産業に不可欠の要素となっている<sup>76</sup>。1997年～2017年にシンガポールへの外国人来訪者数は2倍以上となり、2017年にはシンガポールの総人口の3倍以上にあたる1,740万人の外国人来訪者数を記録、国内総生産（GDP）の4%に貢献し<sup>77</sup>、2019年には外国人来訪者数は過去最高を

70 家族・友人間であっても、ビジネスに関わる社会的ギャンブルは違法である。また、社会的ギャンブルへの参加が子どもに許されるため、野党である労働者党の国会議員は、後の「問題ギャンブル」の引き金にならないかと懸念を表明した（*The Straits Times*, March 11, 2022.）。ギャンブル経験——頻度、継続時間、賭け金額——の密度が高まるほど、ギャンブル依存症になる可能性が増える（鳥畑 2015: 34）ため、上述の懸念は憂慮に値すると思われる。

71 *The Straits Times*, July 13, 2021. 英国の場合、厳格なギャンブル規制により、闇ギャンブル市場が数年で22万人から46万人へと拡大した（*News, Casino.org.*, November 23, 2022.）。

72 *The Business Times*, May 7, 2019.

73 *Inside Asian Gaming*, December 8, 2022.

74 シンガポール居住者のカジノ入場は、同国成人人口の4.0%（2018会計年度：2018年4月1日～2019年3月31日）から、同2.7%（2019会計年度：2019年4月1日～2020年3月31日）に減少した（“Chairman’s forward,” *CRA Annual Report*, 2019/2020.）。

75 鳥畑 2015: 39.

76 *Inside Asian Gaming*, October, 2014.

77 *ASEAN Today*, September 13, 2018.

記録した<sup>78</sup>。観光産業は雇用創出にも大きく貢献している<sup>79</sup>。

ところが、2020年早々、世界は新型コロナウイルス感染症の拡大に見舞われることになった。新型コロナウイルス感染症を封じ込めるため、世界各地で外出制限、地域封鎖などの措置がとられ、世界経済は失速し始める。シンガポールももちろん例外ではなかった。2020年上半期はとりわけ、カジノなど、必須サービスを除く職場が閉鎖され、チャンギ（Changi）国際空港でのトランジットを含む旅行制限も実施されたため、観光業界を含め、シンガポール経済は非常に大きな打撃を受けた。

2020年1～4月のシンガポールへの外国人来訪者数は前年同期比57.7%の減少となり<sup>80</sup>、マリーナ・ベイ・サンズ（MBS）——世界で最も収益率の高いカジノのひとつ——の場合、2019年第2四半期（4～6月）期の総収入は6億8800万米ドルにのぼったのに対し、2020年同期の総収入は2,300万米ドルにとどまった<sup>81</sup>。リゾート・ワールド・セクター（RWS）は一方、労働省（Ministry of Manpower, MOM）やアトラクション・リゾート・エンターテインメント組合（the Attractions, Resorts, and Entertainment Union, AREU）、シンガポール全国雇用者連盟（the Singapore National Employers Federation）と協議のうえ、最終手段として、2020年7月中旬、解雇手当支給での外国人従業員中心の解雇に踏み切った<sup>82</sup>。この解雇においては、解雇手当の支給は支給有資格者に、勤続1年につき給与半月分で、被解雇者は2,000人にのぼるとみられ、解雇実施後、シンガポール人・シンガポール永住者の従業員比率は66%から75%に上昇した<sup>83</sup>。

2020年第4四半期は地元客がカジノを支えたとされる<sup>84</sup>。しかし、シンガポールは国内市場規模が小さく、また、居住者のカジノ訪問への制約があるため、カジノは外国人、特に大金を賭け、ゲームを熟知し、ゲーム資金にかなりの融資が利用可能なプレミアム・プレーヤー頼みだった<sup>85</sup>。面が大きくカジノ、ひいては統合リゾート（IRs）の収益に影響したのである。シンガポール政府によると、プレミアム・プレーヤーとは「特定のカジノ事業者になくとも10万ドル以上の預金口座を開いている人物を指す<sup>86</sup>。既に2018年にはプレミアム・プレーヤーのシンガポール「脱出」が伝えられていた<sup>87</sup>。

新型コロナ禍の落ち着きに伴う外国人入国の段階的の緩和——シンガポールへのプレミアム・プレーヤーの多いアジア太平洋地域<sup>88</sup>から——<sup>89</sup>はカジノなど観光産業に大きく関連するとみて間違

78 ビジネス短信（日本貿易振興機構）、2020年7月13日。

79 *ASEAN Today*, September 13, 2018.

80 ビジネス短信（日本貿易振興機構）、2020年7月13日。

81 News, Casino.org, July 23, 2020.

82 *Today*, July 15, 2020; *Today*, August 6, 2020; *CalvanAyer*, August 10, 2020.

83 *CalvanAyer*, August 10, 2020.

84 News, Casino.org., February 1, 2021.

85 *CalvanAyer*, November 1, 2020. 統合リゾート（IRs）収入に占めるカジノ収入の割合は約80%とされる（自治体国際化協会、2018年）。2016年のカジノ収入は両統合リゾート（IRs）とも、全体のおよそ75%であった（*ASEAN Today*, September 13, 2018）。

86 Inland Revenue Authority of Singapore (IRAS), n.d. "How to compute casino tax (gross gaming revenue. casino tax rates)."

87 *ASEAN Today*, September 13, 2018.

88 裕福な中国人、インドネシア人、マレーシア人がカジノのバカラや買い物、健康診断にシンガポールを訪れると報

いない。

シンガポール政府は、統合リゾート（IRs）事業者2社のカジノ独占営業権終了前からの2年近い交渉を経て、新型コロナ禍以前の2019年4月3日、カジノを含む統合リゾート（IRs）の拡張（更新を含む）を発表している<sup>90</sup>。その発表内容は、現在の統合リゾート（IRs）運営2社限定の2030年末までのカジノ営業許可、言い換えれば、同国内に他のカジノは2030年末までは不許可、と統合リゾート（IRs）内のカジノ以外の施設の拡張・更新である。この報道機関向けの発表には、ギャンブルの弊害を最小化する手段として、2019年4月19日午後11時59分以降のカジノ入場税50%値上げも含まれている。

統合リゾート（IRs）の拡張とは、土地拡大を伴う、カジノ（ゲーム場面積とゲーム機数）拡張・更新とカジノ以外の拡張・更新に分けられ、後者のカジノ以外の各種アトラクションの拡張・更新、宿泊施設の新築に、各社45億ドル、すなわち、計90億ドルの投資をする、その建設期限は2025年となっている<sup>91</sup>。

カジノは各社のゲーム場面積が15,000平方メートルから、追加の土地代金——両社で計17億ドル——の支払いを条件に、マリーナ・ベイ・サンズ（MBS）は2,000平方メートル、リゾート・ワールド・セントーサ（RWS）は500平方メートルに拡張可能で、拡張に伴うゲーム機数はそれぞれ順に、1,000台、500台である。カジノ以外の拡張の方が、カジノの拡張よりも規模が大きいいため、ゲーム場面積は3.1%から2.3%に減少する。

カジノ以外はどのような計画か。マリーナ・ベイ・サンズ（MBS）——開業以来、3.3億人が訪れた——の場合、多くのMICE空間があり、屋上にプールやレストランのある1,000室を擁する高層宿泊施設の新築——屋上でつながる高層宿泊施設3棟の隣——、15,000席の最新の設備を誇るコンサート・ホールという計画である。リゾート・ワールド・セントーサ（RWS）——開業以来2,000万人以上が訪れ、国外訪問者の33%以上を受け入れてきた、シンガポールの最大規模雇用者のひとつ——の場合、164,000平米が上乘せされ、現在のテーマ・パークの一部を2つのテーマ・パークに変更・拡張、水族館は3倍以上に拡張・更新、2棟1,100室の宿泊施設新築、MICE空間の11,000平米拡張という計画である。

統合リゾート（IRs）拡張・更新後の雇用創出は5,000人（居住者は2/3）が見込まれている。リゾート・ワールド・セントーサ（RWS）の場合、雇用規模は現在の13,000人以上に2,800人が追加の見込みである。

∨ じられている（*The Business Times*（Singapore），May 29, 2021.）。

89 *CalvinAyer*, November 1, 2020; *CalvinAyer*, December 14, 2020; ビジネス短信（日本貿易振興機構）、2022年3月16日・2022年7月13日など。

90 *MTI, et al.*, April 3, 2019. カジノの拡張決定に対し、元国会議員（労働者党所属）ジாம்（Gerald Giam）氏は、両カジノが収益を上げているにもかかわらず、なぜ政府はカジノ拡張を認めるのか、と自身のフェイスブックで疑問を呈した（*The Independent*, April 4, 2019.）。

91 *The Straits Times*, April 3, 2019; *Today*, April 3, 2019; *The Independent*, April 4, 2019; *Forbes*, April 9, 2019. 追加の土地代金については、*The Business Times*, May 7, 2019.

統合リゾート（IRs）拡張・更新の理由は、シンガポール政府高官によれば、第1に、増加が見込まれる外国人訪問客 50 万人による国内総生産（GDP）への 5 億ドルの貢献、第2に、観光客と MICE 産業に対する競争激化である<sup>92</sup>。この拡張決定にはほかに、[1] 2016 年以降の同国の統合リゾート（IRs）の不振——収入とプレミアム・プレーヤーの減少——や [2] アジア太平洋地域のカジノの動向——韓国、ベトナム、カンボジア、フィリピンのカジノに関わるギャンブル規制の緩和——、さらに、[3] オンライン・ギャンブルの拡大<sup>93</sup>、の影響も考えられる。

カジノを含む統合リゾート（IRs）拡張・更新の決定にはゲーミング課税の強化（2022 年 3 月以降）も含まれている。シンガポール政府は、これによって政府歳入の拡大を見込む。すなわち、マス・ゲーミング課税は一律 15% から 18%（各 IR の総収入——Gross Gaming Revenue, GGR——の 31 億ドル未満に対して）と 22%（各 IR の総収入の 31 億ドル以上に対して）に、プレミアム・プレーヤーを対象とするプレミアム・ゲーミング課税は一律 5% から 8%（各 IR の総収入の 24 億ドル未満に対して）と 12%（各 IR の総収入の 24 億ドル以上に対して）に変更される<sup>94</sup> こととなった。

同じく関連するのが、チャンギ国際空港の拡張の再開（2022 年）である。チャンギ国際空港（1981 年開業）は、最大の市場を東南アジアとする、国際的な基幹空港であり、かねてより非常に評価が高く<sup>95</sup>、多彩な施設——飲食店や小売店、トランジット客対象の宿泊施設、植物園、ジム、プール、映画館など——が揃い、トランジット客対象の無料国内ツアー（参加条件あり）も提供する、巨大な 24 時間空港となっている。2023 年 1 月中旬には、同空港内で、シンガポール観光庁（STB）の支援による、世界的に有名なキャラクターの音と光のショーも始まった<sup>96</sup>。チャンギ国際空港の拡張とは、このような観光資源でもある空港に、乗客取り扱い数が年間 5,000 万人（当初の予定）の第 5 ターミナル（T5）——新型コロナウイルス感染症拡大による約 2 年間の進捗中断をプラスに転化し、乗客を到着・出発で分離し、検査や検疫、公的催事に使用可能な空間を設けることにより、リスクの最小化を図る最先端の設計——を 2030 年代半ばまでに新設するという大型事業である<sup>97</sup>。こうした空港の国際競争力強化——空港利用料金の設定などを含む——は、観光客の増大と MICE の誘致を念頭にした事案と思われる。

2022 年夏、国際通貨基金（IMF）は効果的な新型コロナウイルス感染症対策によりシンガポール経済は力強く回復したと賞賛し<sup>98</sup>、メイバンク投資銀行（Maybank Investment Bank）は同国のカジノへの

92 *The Straits Times*, April 5, 2019.

93 *ASEAN Today*, September 13, 2018. リゾート・ワールド・セクター（RWS）は 2016 年、カジノ従業員 400 人を解雇した（*The Independent*, June 10, 2016.）。

94 MTL, *et al.*, 2019. GGR については、IRAS, n.d. “How to compute casino tax (gross gaming revenue, casino tax rates).” 参照。

95 “Awards and accolades,” Changi Airport Group.

96 Press release, January 12, 2023, Changi Airport Group.

97 *The Straits Times*, May 18, 2022.

98 Press release PR/209, July 21, 2022, IMF.

プレミアム・プレーヤー訪問数——カジノ事業のひとつの目安——が新型コロナ感染症拡大前の約75%に回復した——プレミアム・プレーヤーは主としてマレーシアとインドネシアから——と述べる<sup>99</sup>。チャンギ国際空港の利用乗客数は2022年9月は2019年同期の62.6%に、2022年（1月～11月）は2019年の40%に回復した<sup>100</sup>。

2022年夏にはまた、カジノ業界の見本市・会議である「アジア・グローバル・ゲーミング博2022（Global Gaming Expo [G2E] Asia 2022 Special Edition: Singapore）」がマリーナ・ベイ・サンズ（MBS）で、2年間のオンライン開催を経て、シンガポールで対面で開催された（2022年8月24～26日）<sup>101</sup>。「アジア・グローバル・ゲーミング博」は初開催の2007年から2019年までカジノや世界遺産で知られるマカオで開催されてきた、アジアのゲーム産業・市場に焦点を当てたカジノ業界の行事であり、2022年の場合、人工知能やデジタル技術、e-スポーツも対象となっている。

さらに、シンガポールのビジネス界の要人で、マリーナ・ベイ・サンズ（MBS）にも在籍し、同国の貿易産業省（MTI）や教育省（MOE）の要職を勤めたラム（Lam Yi Yong）氏のリゾート・ワールド・セントリーサ（RWS）カジノ部門の重役への就任（2023年1月1日）が発表されている<sup>102</sup>。こうした人事交流により、シンガポール政府がカジノを含む統合リゾート（IRs）の発展を支援する体制が強化されると思われる。

もっとも、懸念材料がないわけではない。2022年夏、リゾート・ワールド・セントリーサ（RWS）において、人手不足による業績回復への制約が報じられている<sup>103</sup>。しかも、リゾート・ワールド・セントリーサ（RWS）は人手不足から新人引き留めを目的に新人を優遇した——9年勤続の経験者がせいぜい10ドルの上積みに対し、新人には300～400ドルの上積み——結果、逆に経験者の給与の方が大幅に安くなり、「傷つけられ、失望した」複数の経験者がChange.org、新明日報（Shin Min Daily News、シンガポールの華字夕刊紙）で嘆願を開始するに至った<sup>104</sup>。こうした人手不足の背景には、「顧客のことは考えていない」とみられるギャンブル産業への不信がある<sup>105</sup>ではないかと思われる。

マリーナ・ベイ・サンズ（MBS）による「サンズ・ホスピタリティ・スカラシップ・プログラム（Sands Hospitality Scholarship Program）」——ホスピタリティ産業の人材養成のため、地元シンガポールの高等教育機関6校に100万ドルの奨学金を2023年以降、3～4年間、100人以上に支給する計画——<sup>106</sup>は上述のような、この業界の人手不足に関わるとみてよい。

99 GGRAsia, July 22, 2022.

100 Press release, October 28, 2022, Changi Airport Group (2022年9月分)；“Yearly breakdown of passenger movements,” Changi Airport Group (2022年1月～11月)。ラスベガス・サンズ（LVS）会長は、航空需要の増加によるマリーナ・ベイ・サンズ（MBS）の収益増を期待する（GGRAsia, July 22, 2022.）。

101 GGRAsia, August 24, 2022.

102 The Business Times, October 28, 2022.

103 Inside Asian Gaming, August 13, 2022.

104 The Independent, June 11, 2022.

105 YouGov., September 12, 2022. カジノが「顧客のことを考えている」との回答はシンガポールにおける調査では10%であった（ibid.）。

106 Gambling News, August 30, 2022.

シンガポールへの外国人来訪者は2022年、630万人に達した。シンガポール観光の主要市場であるインドネシア、インド、マレーシアからの来訪者も非常に多く、マリーナ・ベイ地区でのフォーミュラ1世界選手権（Singapore Formula 1 Grand Prix 2022）——F1史上初の夜間レースとして2008年に始まり（2020～2021年は新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催中止）、同国での2028年までの開催が決定している——には、3日間で過去最大の30.2万人という観客数を記録した（2022年9月）。2023年、チャンギ国際空港の乗り継ぎや便数の改善、中国の海外旅行制限の緩和により、シンガポールへの外国人来訪者数は1,200万～1,400万人に達するとシンガポール観光庁（STB）は予測する<sup>107</sup>。

シンガポール政府は、世界的に利益を上げていると認められている両統合リゾート（IRs）の拡張・更新という先取り戦略を採った。2022年のシンガポールは、その国際競争力を世界第5位から世界第3位にあげた<sup>108</sup>。ただ、リー首相がシンガポール国民に宛てた2023年の新年メッセージにあるように、「不確実性に備えなければならない」<sup>109</sup>。

シンガポール政府の統計によれば、カジノに象徴されるギャンブルの弊害は目立ってはいない。しかし、統計によって関連するあらゆる問題が把握されるわけではない。したがって、ギャンブルの弊害を最小限にとどめおき拡大させないために、シンガポール政府は今後も時代に即した、かつ、きめ細やかなギャンブル対策を採っていく必要があると思われる。

#### 参考資料

AFP, November 28, 2004, cited in *Singapore Window*, at [〈https://singapore-window.org/sw04/041128af/html〉](https://singapore-window.org/sw04/041128af/html), 2019年1月14日閲覧。

『朝日新聞』、2018年11月10日、「世界発2018 映画の世界超える「クレイジー・リッチ」」。2019年1月17日閲覧。

*ASEAN Today*, September 13, 2018, at [〈https://www.aseantoday.com/2018/09/warning-signs-are-singapores-casinos-in-trouble/〉](https://www.aseantoday.com/2018/09/warning-signs-are-singapores-casinos-in-trouble/), 2019年9月1日閲覧。

Association of Women for Action and Research (AWARE), 2005, *Casino Report*, Singapore: AWARE. at [〈https://aware.org.sg/wp-content/uploads/Casino\\_Paper.pdf〉](https://aware.org.sg/wp-content/uploads/Casino_Paper.pdf), 2022年12月10日閲覧。

BBC News, July 15, 2014, at [〈https://www.bbc.com/news/world-asia-28318187〉](https://www.bbc.com/news/world-asia-28318187), 2019年1月19日閲覧。

Bloomberg, June 18, 2014, at [〈https://www.bloomberg.com/news/articles/2014-06-17/rolex-for-casino-cash-fuels-singapore-pawnshop-growth〉](https://www.bloomberg.com/news/articles/2014-06-17/rolex-for-casino-cash-fuels-singapore-pawnshop-growth), 2022年12月17日閲覧。

*Calvin Ayre*, March 15, 2015, at [〈https://calvinayre.com/2015/03/15/casino/singapore-floating-casino-makes](https://calvinayre.com/2015/03/15/casino/singapore-floating-casino-makes)

107 Media release, Singapore Tourism Board, January 17, 2023.

108 IMD Competitiveness Booklet 2022.

109 PM Lee Hsieng Loong, December 31, 2022.

- a-comeback〉, 2022 年 11 月 19 日閱覽。
- , February 28, 2018, at 〈<https://calvinayre.com/2018/02/28/business/singapore-legal-online-gambling-no-betting-surge>〉, 2022 年 11 月 21 日閱覽。
- , August 10, 2020, at 〈<https://calvinayre.com/2020/08/10/casino/macau-and-singapore-are-shrinking-as-casinos-struggle>〉, 2022 年 11 月 21 日閱覽。
- , November 1, 2020, at 〈<https://calvinayre.com/2020/11/01/casino/singapore-casinos-pay-smaller-fines-welcome-fewer-locals>〉, 2022 年 11 月 21 日閱覽。
- , December 14, 2020, at 〈<https://calvinayre.com/2020/12/14/casino/singapore-opens-up-to-more-taiwanese-tourism>〉, 2022 年 12 月 17 日閱覽。
- , July 23, 2020, at 〈<https://www.casino.org/news/singapore-announces-domestic-tourism-campaign-to-drive-local-demand/>〉, 2022 年 12 月 18 日閱覽。
- , June 29, 2020, at 〈<https://www.casino.org/news/singapore-casinos-will-reopen-july-1-but-business-wont-be-usual/>〉, 2022 年 12 月 19 日閱覽。
- , February 1, 2021, at 〈<https://www.casino.org/news/singapore-casinos-firming-but-more-international-travelers-needed/>〉, 2022 年 12 月 19 日閱覽。
- . July 19, 2022, at 〈<https://www.casino.org/news/illegal-gambling-operation-in-singapore-leads-to-arrest-of-29/>〉, 2022 年 12 月 17 日閱覽。
- , November 23, 2022, at 〈<https://www.casino.org/news/yougov-study-shows-nanny-state-gambling-control-strengthens-black-market-gambling/>〉, 2022 年 11 月 25 日閱覽。
- Casino Regulatory Authority of Singapore (CRA), n.d. *Annual Report, 2008/2009, 2009/2010, 2010/2011, 2011/2012, 2012/2013, 2013/2014, 2014/2015, 2015/2016, 2016/2017, 2017/2018, 2018/2019, 2019/2020, 2020/2021*, Singapore: CRA (GCA), at 〈<https://www.gra.gov.sg/newsroom/annual-reports.>〉, 2022 年 12 月 10 日閱覽。
- Changi Airport Group, n.d., “Awards and accolades,” at 〈<https://www.changiairport.com/corporate/about-us/awards-and-accolades.html>〉, 2022 年 11 月 29 日閱覽。
- , October 28, 2022, Press release, at 〈<https://www.changiairport.com/corporate/media-centre/newsroom.html#/pressreleases/changi-airports-operating-indicators-for-q3-2022-3214028.>〉, 2022 年 11 月 29 日閱覽。
- , Press release, January 12, 2023, at 〈<https://www.changiairport.com/corporate/media-centre/newsroom.html#/pressreleases/jewel-changi-airport-opens-disney-100-in-singapore-with-spectacular-displays-to-delight-fans-families-and-travellers-3227233>〉, 2023 年 1 月 15 日閱覽。
- Channelnewsasia, March 2, 2022, at 〈<https://www.cnaluxury.channelnewsasia.com/people/wealth-population-singapore-knight-frank-wealth-report-2022-197681>〉, 2023 年 1 月 10 日閱覽。
- CruiseMapper, April 27, 2021, at 〈<https://www.cruisemapper.com/news/8813-new-century-cruise-lines-leisure-world-amusement-world-ships-sold-scrap>〉, 2022 年 11 月 26 日閱覽。

- Department of Statistics (DOS), Singapore, 2021, *Census of Population 2020, Statistical Release 1*, Singapore: DOS, at [〈https://www.singstat.gov.sg/-medhia/files/publications/cop/sr1/cop2020sr1.ashx〉](https://www.singstat.gov.sg/-medhia/files/publications/cop/sr1/cop2020sr1.ashx), 2021年12月30日閲覧。[注：シンガポールにおける国勢調査は1970年以降、10年に1回、実施されている。]
- Gambling News*, August 30, 2022, at [〈https://www.gamblingnews.com/news/marina-bay-sands-launches-1-m-scholarship-to-train-local-talent/〉](https://www.gamblingnews.com/news/marina-bay-sands-launches-1-m-scholarship-to-train-local-talent/), 2022年11月23日閲覧。
- GGRAsia*, May 06, 2019, at [〈https://www.ggrasia.com/few-singapore-casino-crimes-linked-to-syndicates-govt/〉](https://www.ggrasia.com/few-singapore-casino-crimes-linked-to-syndicates-govt/), 2022年12月17日閲覧。
- , July 22, 2022, at [〈https://www.ggrasia.com/imf-praises-singapore-on-covid-as-city-casinos-reap-benefit/〉](https://www.ggrasia.com/imf-praises-singapore-on-covid-as-city-casinos-reap-benefit/), 2023年1月7日閲覧。
- , August 24, 2022, at [〈https://www.ggrasia.com/g2e-asia-2022-starts-today-new-segment-on-smart-irs/〉](https://www.ggrasia.com/g2e-asia-2022-starts-today-new-segment-on-smart-irs/), 2023年1月7日閲覧。
- Giam, Gerald, 2006, “MP’s parliamentary speeches during casino debate in 2005,” at [〈https://gelaldgiam.sg/2006/11/mps-parliamentary-speeches-during-casino-debate-in-2005/〉](https://gelaldgiam.sg/2006/11/mps-parliamentary-speeches-during-casino-debate-in-2005/), 2022年12月10日閲覧。
- Henderson, J. C. 2007, “Managing the Planning and Development of New Visitor Attractions: A Singapore Model,” *Managing Leisure*, 12, at [〈https://www.researchgate.net/〉](https://www.researchgate.net/), 2019年1月17日閲覧。
- IAG (Inside Asian Gaming)*, October, 2014, at [〈https://www.asgam.com/mags/201410/〉](https://www.asgam.com/mags/201410/), 2022年11月28日閲覧。
- , August 13, 2022, at [〈https://www.asgam.com/index.php/2022/08/13/genting-singapore-on-the-rise-in-2q22-but-rws-manpower-shortages-limiting-recovery/〉](https://www.asgam.com/index.php/2022/08/13/genting-singapore-on-the-rise-in-2q22-but-rws-manpower-shortages-limiting-recovery/), 2022年11月28日閲覧。
- , December 8, 2022, at [〈https://www.asgam.com/index.php/2022/12/08/singapores-casino-entry-levy-collections-rise-for-first-time-ever-lotteries-hit-all-time-high-in-fy22/〉](https://www.asgam.com/index.php/2022/12/08/singapores-casino-entry-levy-collections-rise-for-first-time-ever-lotteries-hit-all-time-high-in-fy22/), 2022年12月11日閲覧。
- IMD (International Management Development), 2022, *IMD Competitiveness Booklet 2022.*, at [〈https://imd.cld.bz/IMD-World-Competitiveness-Booklet-2022〉](https://imd.cld.bz/IMD-World-Competitiveness-Booklet-2022), 2023年1月10日閲覧。
- Inland Revenue Authority of Singapore (IRAS), n.d. “How to compute casino tax (gross gaming revenue, casino tax rates),” Singapore: IRAS, at [〈https://www.iras.gov.sg/taxes/other-taxes/casino-tax/computing-casino-tax-\(gross-gaming-revenue-casino-tax-rates\)〉](https://www.iras.gov.sg/taxes/other-taxes/casino-tax/computing-casino-tax-(gross-gaming-revenue-casino-tax-rates)), 2022年12月19日閲覧。
- International Monetary Fund (IMF), Press release PR/209, July 21, 2022, at [〈https://www.imf.org/en/Publications/CR/Issues/2022/07/20/Singapore-2022-Article-IV-Consultation-Press-Release-Staff-Report-and-Statement-by-the-521048〉](https://www.imf.org/en/Publications/CR/Issues/2022/07/20/Singapore-2022-Article-IV-Consultation-Press-Release-Staff-Report-and-Statement-by-the-521048), 2022年11月23日閲覧。
- 自治体国際化協会、2018、『時代とともに変化する観光政策』自治体国際化協会、at [〈clair.or.jp/forum/pub/docs/472.pdf〉](http://clair.or.jp/forum/pub/docs/472.pdf), 2022年11月9日閲覧。
- 国立国会図書館・調査及び立法考査局、『外国の立法』No.262-2 (2015), No.270-1 (2017), at [〈https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/legis/index.html〉](https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/legis/index.html), 2022年11月20日閲覧。
- Lee, Hsieng Loong, 2004, Prime Minister Lee Hsien Loong’s National Day Rally 2004 (English),



- Singapore: PMO, at <https://www.pmo.gov.sg/Newsroom/prime-minister-lee-hsien-loongs-national-day-rally-2004-english>), 2019年1月8日閲覧。
- , 2005, “Proposal to Develop Integrated Resorts,” at <https://www.mti.gov.sg/Resources/feature-articles/2006/Ministerial-Speeches-and-Comments-for-Integrated-Resorts>), 2019年1月8日閲覧。
- , 2022, “2023 New Year Message,” at <https://www.pmo.gov.sg/Newsroom/2023-New-Year-Message-by-PM-Lee-Hsien-Loong>), 2023年1月8日閲覧。
- Marketing-Interactive*, November 28, 2011, at <https://www.marketing-interactive.com/regulators-rein-in-casino-advertising>), 2019年1月10日閲覧。
- Ministry of Community Development, Youth and Sports (MCYS), 2005 a, Media release, Singapore: MCYS, [https://www.ncpg.org.sg/docs/default-source/media/statistics-and-press-releases/2005/18-apr-2005\\_20050418.pdf](https://www.ncpg.org.sg/docs/default-source/media/statistics-and-press-releases/2005/18-apr-2005_20050418.pdf)), 2019年1月6日閲覧。
- , 2005 b, *Report of Survey on Participation in Gambling Activities among Singapore Residents, 2005*, Singapore: MCYS, at <https://www.ncpg.org.sg/resources/surveys>), 2019年1月6日閲覧。
- , 2008, *Report of Survey on Participation in Gambling Activities among Singapore Residents, 2008*, Singapore: MCYS, at <https://www.ncpg.org.sg/resources/surveys>), 2019年1月6日閲覧。
- Ministry of Home Affairs (MHA), 2022, Press release, November 17, 2022, Singapore: MHA, at <https://www.mha.gov.sg/mediaroom/press-releases/joint-efforts-to-tackle-unlawful-and-problem-gambling-during-world-cup-2022>), 2022年11月29日閲覧。
- Ministry of Law, n.d. “List of Licensed Pawnbrokers in Singapore,” at <https://rop.mlaw.gov.sg/information-for-pawners/list-of-licensed-pawnbrokers-in-singapore>,” 2023年1月8日閲覧。
- Ministry of Trade and Industry (MTI), (with Ministry of Finance, and Ministry of Social and Family Development), 2019, Press release, Singapore: MTI, at [https://www.mti.gov.sg/Newsroom/Press-Releases/2019/04/Integrated-Resorts-to-invest-S\\$9-billion-in-new-world-class-attractions-and-experiences](https://www.mti.gov.sg/Newsroom/Press-Releases/2019/04/Integrated-Resorts-to-invest-S$9-billion-in-new-world-class-attractions-and-experiences)), 2022年11月20日閲覧。
- National Council of Churches of Singapore (NCCS), Singapore, 2010, “*Casinos, A Statement on 4 December 2010*,” Singapore: NCCS, at <https://nccs.org.sg/2010/12/casinos/>), 2022年12月10日閲覧。
- National Council on Problem Gambling (NCPG), Singapore, 2012, *Report of Survey on Participation in Gambling Activities among Singapore Residents, 2011, 2014, 2017, 2020*, Singapore: NCPG, at <https://www.ncpg.org.sg/resources/surveys>), 2019年1月6日閲覧。(2011～2017)、2022年11月26日閲覧(2020)。発行年は順に、2012、2015、2018、2021。各資料は順に、NCPG 2012, NCPG 2015, NCPG 2018, NCPG 2021。
- , 2014, Media release, March 6, 2014, at [https://www.ncpg.org.sg/docs/default-source/media/statistics-and-press-releases/2014/ncpg-media-release-stakeholder-report\\_final\\_20140306.pdf](https://www.ncpg.org.sg/docs/default-source/media/statistics-and-press-releases/2014/ncpg-media-release-stakeholder-report_final_20140306.pdf), 2022年11月6日閲覧。

- , n.d., *NCPG Annual Report 2013/2014*, Singapore: NCPG, at [〈https://www.ncpg.org.sg/resources/ncpg-term-reports〉](https://www.ncpg.org.sg/resources/ncpg-term-reports), 2019年1月14日閲覧。
- , n.d., *NCPG Term Report 2015-2017, 2017-2019, 2019-2021*, Singapore: NCPG, at [〈https://www.ncpg.org.sg/resources/ncpg-term-reports〉](https://www.ncpg.org.sg/resources/ncpg-term-reports), 2022年11月6日閲覧。
- , n.d., “Self Help is Your Best Bet,” Singapore: NCPG, at [〈https://www.ncpg.org.sg/docs/default-source/publications/ncpg-brochures/casino-self-exclusion/english\\_ncpg\\_self\\_exclusions.pdf〉](https://www.ncpg.org.sg/docs/default-source/publications/ncpg-brochures/casino-self-exclusion/english_ncpg_self_exclusions.pdf), 2022年11月6日閲覧。
- , n.d., *Statistics*, As at 31 December 2019; As at 31 December 2020; As at 31 December 2021, Singapore: NCPG, at [〈https://www.ncpg.org.sg/resources/casino-exclusion-and-visit-limit-statistics〉](https://www.ncpg.org.sg/resources/casino-exclusion-and-visit-limit-statistics), 2022年11月6日閲覧。
- , n.d., *Update of Statistics, Data as at 31 March 2016; Data as at 30 June 2016; Data as at 30 September 2016; Data as at 31 December 2016; Data as at 31 March 2017; Data as at 30 June 2017; Data as at 30 September 2017; Data as at 31 December 2017; Data as at 31 March 2018; Data as at 30 June 2018; Data as at 30 September 2018; Data as at 31 December 2018; Data as at 31 March 2019; Data as at 30 June 2019; Data as at 30 September 2019*, Singapore: NCPG, at [〈https://www.ncpg.org.sg/resources/casino-exclusion-and-visit-limit-statistics〉](https://www.ncpg.org.sg/resources/casino-exclusion-and-visit-limit-statistics), 2019年1月14日閲覧。
- 中村 都、2009、『シンガポールにおける国民統合』法律文化社。
- 、2019、「シンガポールにおけるカジノの社会的影響 統計を中心に」『追手門経営論集』第24巻、at [〈https://www.i-repository.net/〉](https://www.i-repository.net/)。
- 日本貿易振興機構（Japan External Trade Organization, JETRO）、ビジネス短信、at [〈https://jetro.or.jp/biznews/〉](https://jetro.or.jp/biznews/)、2022年11月25日閲覧。
- Prime Minister’s Office（National Population and Talent Division），Singapore；Singapore Department of Statistics（DOS）；Ministry of Home Affairs（MHA），Singapore；Immigration & Checkpoints Authority of Singapore（ICA）；Ministry of Manpower（MOM），Singapore，2022，*Population in Brief 2022*. Singapore: PMO, DOS, MHA, ICA, MOM. at [〈https://www.population.gov.sg/files/media-centre/publications/Population-in-brief-2022.pdf〉](https://www.population.gov.sg/files/media-centre/publications/Population-in-brief-2022.pdf)，2022年12月11日閲覧。
- Sim Wei Chun, Joshua, 2013, *The casino and modernity: a study of Singapore’s integrated resorts*, a thesis submitted for the degree of master of social sciences（sociology），Singapore: National University of Singapore, 30-38.
- Singapore Pools, June 14, 2020, Press release, at [〈https://www.singaporepools.com.sg/en/pr/SiteAssets/PR140620.pdf〉](https://www.singaporepools.com.sg/en/pr/SiteAssets/PR140620.pdf)，2022年11月17日閲覧。
- , n.d., “Eligibility, Singapore Pools Account,” at [〈https://www.singaporepools.com.sg/ms/spa/en/index.html?tab=new-to-singapore-pools-account〉](https://www.singaporepools.com.sg/ms/spa/en/index.html?tab=new-to-singapore-pools-account)，2022年11月19日閲覧。
- , n.d., “Lottery,” at [〈https://online.singaporepools.com/en/lottery〉](https://online.singaporepools.com/en/lottery)，2022年11月19日閲覧。
- Singapore Tourism Board, n.d. “Visit Singapore,” at [〈https://www.visitsingapore.com/editorials/singapore-](https://www.visitsingapore.com/editorials/singapore-)

- most-iconic-landmarks/), 2022 年 12 月 1 日 閱 覽。
- , January 17, 2023, at <https://www.stb.gov.sg/content/stb/en/media-centre/media-releases/Singapore-tourism-sector-recovers-strongly-in-2022-visitor-numbers-expected-to-double-in-2023.html>), 2023 年 1 月 19 日 閱 覽。
- Teo, You Yenn, 2018, *This is what inequality looks like*, Singapore: Ethos Books.
- The Business Times* (Singapore), May 7, 2019, at <https://www.businesstimes.com.sg/international/singaporeans-spend-over-s1b-casino-entrance-fees>), 2022 年 12 月 17 日 閱 覽。
- , March 2, 2021, at <https://www.businesstimes.com.sg/property/number-ultra-rich-living-singapore-rose-last-year-despite-pandemic-knight-frank>), 2023 年 1 月 10 日 閱 覽。
- , May 29, 2021, at <https://www.businesstimes.com.sg/international/super-rich-are-choosing-singapore--worlds-safest-haven>), 2023 年 1 月 10 日 閱 覽。
- , October 28, 2022, at <https://www.businesstimes.com.sg/companies-markets/rws-hires-singapore-business-federation-chief-mbs-casino-veteran>), 2022 年 12 月 20 日 閱 覽。
- The Economist*, February 9, 2017, at <https://www.economist.com/graphic-detail/2017/02/09/the-worlds-biggest-gamblers>), 2022 年 12 月 8 日 閱 覽。
- The Independent*, Singapore, April 4, 2019, at <https://theindependent.sg/wp-politician-asks-why-govt-is-allowing-mbs-and-rws-to-expand-gambling-space-when-casinos-are-already-viable/>), 2022 年 11 月 27 日 閱 覽。
- , June 10, 2016, at <https://theindependent.sg/casino-business-faces-difficulties-rws-retrenches-400-casino-staff/>), 2022 年 11 月 27 日 閱 覽。
- , June 11, 2022, at <https://theindependent.sg/casino-senior-staff-reportedly-got-s0-s10-pay-adjustment-even-after-over-9-years-of-service-but-newer-hires-received-between-300-400-increment/>), 2022 年 11 月 27 日 閱 覽。
- The Straits Times*, March 15, 2015, at <https://www.straitstimes.com/singapore/floating-casino-draws-singaporeans-who-loath-to-pay-100-levy-at-home>), 2022 年 11 月 19 日 閱 覽。
- , March 27, 2015, at <https://www.straitstimes.com/singapore/in-his-own-words-irs-needed-for-singapore-to-keep-abreast-of-the-top-cities>), originally published April 5, 2005, 2019 年 1 月 5 日 閱 覽。
- , March 27, 2018, at <https://www.straitstimes.com/singapore/no-increase-in-gambling-addiction-after-casinos-opened>), 2019 年 1 月 6 日 閱 覽。
- , October 29, 2018, at <https://www.straitstimes.com/singapore/singapore-pools-to-take-over-horse-betting-operations-from-next-year>), 2022 年 11 月 19 日 閱 覽。
- , April 3, 2019, at <https://www.straitstimes.com/singapore/8-things-to-know-about-changes-to-singapores-integrated-resorts>), 2022 年 11 月 23 日 閱 覽。
- , April 5, 2019, at <https://www.straitstimes.com/business/integrated-resorts-expansion-plan-2-years-in-the-making-part-of-singapores-growth-strategy>), 2022 年 11 月 13 日 閱 覽。

- , *March 11, 2022*, at [〈https://www.straitstimes.com/singapore/politics/mps-raise-concerns-about-emerging-forms-of-gambling-as-law-is-updated〉](https://www.straitstimes.com/singapore/politics/mps-raise-concerns-about-emerging-forms-of-gambling-as-law-is-updated), 2022年11月13日閲覧。
- , *May 18, 2022*, at [〈https://www.straitstimes.com/singapore/work-on-changi-airport-t5-to-restart-terminal-to-be-ready-around-the-mid-2030 s.〉](https://www.straitstimes.com/singapore/work-on-changi-airport-t5-to-restart-terminal-to-be-ready-around-the-mid-2030-s), 2023年1月10日閲覧。
- , *November 17, 2022*, at [〈https://www.straitstimes.com/singapore/authorities-to-crack-down-on-illegal-and-problem-gambling-during-world-cup〉](https://www.straitstimes.com/singapore/authorities-to-crack-down-on-illegal-and-problem-gambling-during-world-cup), 2022年11月19日閲覧。
- Today* (Singapore),
- , *April 3, 2019*, at [〈https://www.todayonline.com/singapore/irs-allowed-expand-casinos-exclusivity-rights-extended-end-2030〉](https://www.todayonline.com/singapore/irs-allowed-expand-casinos-exclusivity-rights-extended-end-2030), 2022年11月19日閲覧。
- , *July 15, 2020*, at [〈https://www.todayonline.com/singapore/resorts-world-sentosa-lay-workers-covid-19-takes-toll-tourism-industry〉](https://www.todayonline.com/singapore/resorts-world-sentosa-lay-workers-covid-19-takes-toll-tourism-industry), 2022年11月19日閲覧。
- , *February 14, 2022*, at [〈https://tnp.straitstimes.com/news/singapore/social-gambling-be-legalised-spore-gambling-regulation-body-be-set-under-proposed〉](https://tnp.straitstimes.com/news/singapore/social-gambling-be-legalised-spore-gambling-regulation-body-be-set-under-proposed), 2023年1月8日閲覧。
- 鳥畑与一、2015『カジノ幻想 「日本経済が成長する」という嘘』、KK ベストセラーズ。
- YouGov, *September 12, 2022*, [〈https://sg.yougov.com/en-sg/news/2022/09/12/almost-six-ten-spore-adults-think-online-gambling-〉](https://sg.yougov.com/en-sg/news/2022/09/12/almost-six-ten-spore-adults-think-online-gambling-/), 2022年11月29日閲覧。